

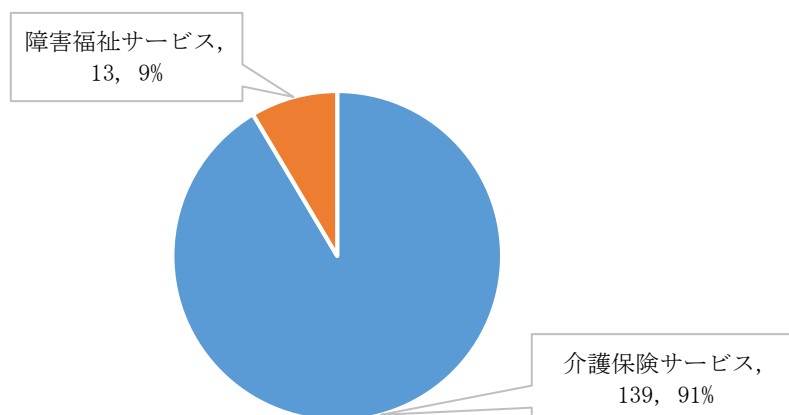
にしなすケアネット
介護保険及び障害福祉事業所における新型コロナウイルス対策アンケート集計結果

1. 所属の事業所の種別をお答えください。

介護保険サービス	居宅介護支援	21	14%
	訪問介護	16	11%
	訪問看護	3	2%
	訪問リハビリ	2	1%
	総合事業通所型	1	1%
	地域密着型通所介護	9	6%
	通所介護	21	14%
	認知症対応型通所介護	1	1%
	通所リハビリ	3	2%
	短期入所生活介護	11	7%
	短期入所療養介護	1	1%
	小規模多機能型居宅介護	11	7%
	特定施設入居者生活介護	8	5%
	認知症対応型共同生活介護	13	9%
	地域密着型介護老人福祉施設	4	3%
	介護老人福祉施設	6	4%
	介護老人保健施設	2	1%
	福祉用具貸与・販売	6	4%
	障害福祉サービス	地域活動支援センター	1
就労継続支援A型		1	1%
就労継続支援B型		3	2%
児童発達支援		1	1%
放課後等デイサービス		2	1%
短期入所		1	1%
生活介護		2	1%
障害者通所支援		1	1%
相談支援事業所		1	1%
合 計		152	

アンケート回答施設内訳

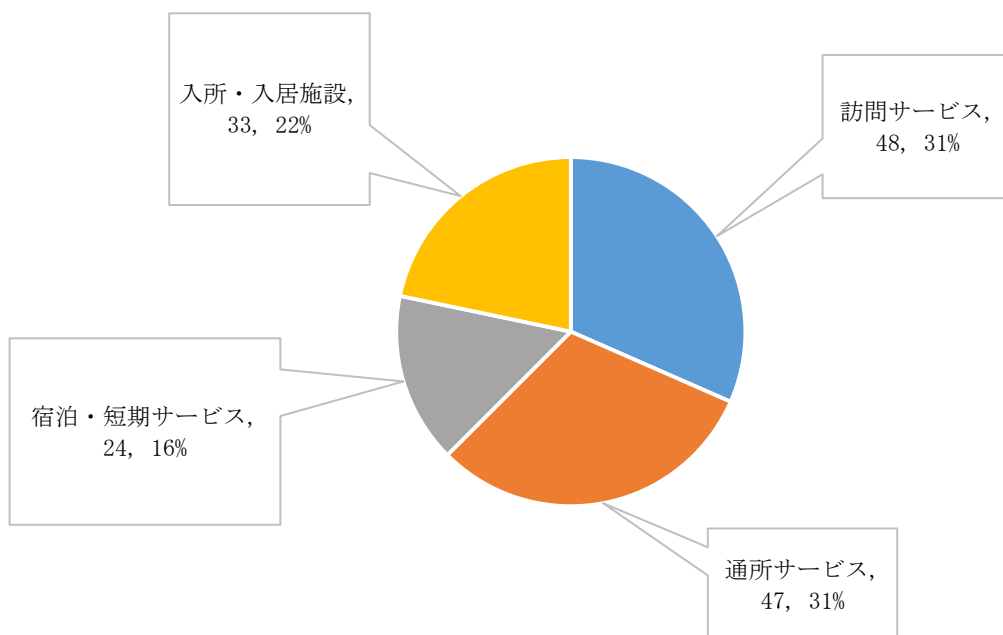
介護保険サービス	139	91%
障害福祉サービス	13	9%
合 計	152	



にしなすケアネット

介護保険及び障害福祉事業所における新型コロナウイルス対策アンケート集計結果
回答施設種別内訳

訪問サービス	介護	居宅介護支援	48
		訪問介護	
		訪問看護	
		訪問リハビリ	
		福祉用具貸与・販売	
通所サービス	介護	総合事業通所型	47
		地域密着型通所介護	
		通所介護	
		認知症対応型通所介護	
		通所リハビリ	
	障害	地域活動支援センター	
		就労継続支援A型	
		就労継続支援B型	
		児童発達支援	
		放課後等デイサービス	
		生活介護	
		障害者通所支援	
相談支援事業所			
宿泊・短期サービス	介護	短期入所生活介護	24
		短期入所療養介護	
		小規模多機能型居宅介護	
	障害	短期入所	
入所・入居施設	介護	特定施設入居者生活介護	33
		認知症対応型共同生活介護	
		地域密着型介護老人福祉施設	
		介護老人福祉施設	
		介護老人保健施設	










にしなすケアネット

介護保険及び障害福祉事業所における新型コロナウイルス対策アンケート集計結果




・入所施設の方へ

① 面会制限を実施しましたか？

はい		66	43%
いいえ		6	4%
無回答		80	53%
合計		152	

事業種別ごとの面会制限	はい	いいえ	無回答
居宅介護支援		0	
訪問介護		1	
訪問看護	0	0	
訪問リハビリ		0	
総合事業通所型	0	0	
地域密着型通所介護		0	
通所介護			
認知症対応型通所介護	0	0	
通所リハビリ	0	0	
短期入所生活介護		0	0
短期入所療養介護		0	0
小規模多機能型居宅介護		0	
特定施設入居者生活介護		0	
認知症対応型共同生活介護		0	
地域密着型介護老人福祉施設		0	0
介護老人福祉施設		0	0
介護老人保健施設		0	0
福祉用具貸与・販売	0	0	
地域活動支援センター	0	0	
就労継続支援A型	0	0	
就労継続支援B型	0		
児童発達支援	0	0	
放課後等デイサービス	0		
短期入所	0		0
生活介護		0	
障害者通所支援	0	0	
相談支援事業所		0	0
合計		66	
			



宿泊・短期サービスのみに限定して面会制限を集計

入所制限あり		21	88%
入所制限無し		1	4%
無回答		2	8%
合計		24	

○集計対象サービス

- ・短期入所生活介護
- ・短期入所療養介護
- ・小規模多機能型居宅介護
- ・短期入所

入所・入居施設のみに限定して面会制限を集計

入所制限あり		31	94%
入所制限無し		0	0%
無回答		2	6%
合計		33	

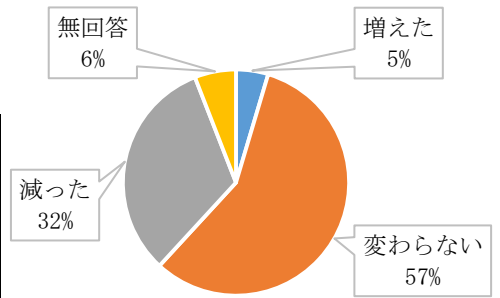
○集計対象サービス

- ・特定施設入居者生活介護
- ・認知症対応型共同生活介護
- ・地域密着型介護老人福祉施設
- ・介護老人福祉施設

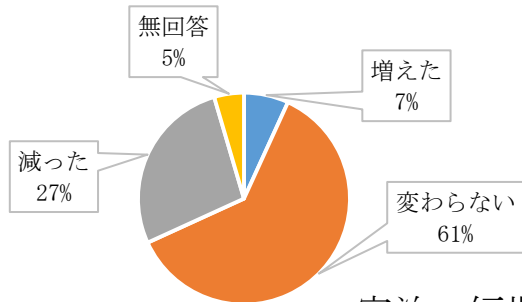
にしなすケアネット
介護保険及び障害福祉事業所における新型コロナウイルス対策アンケート集計結果

3. 利用者数の増減はありましたか？

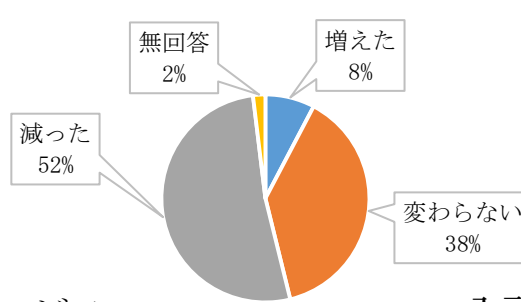
増えた	7	5%
変わらない	87	57%
減った	49	32%
無回答	9	6%
合計	152	



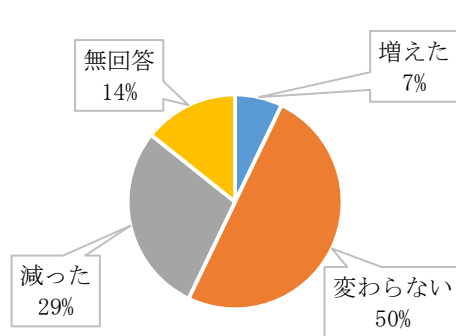
訪問サービス



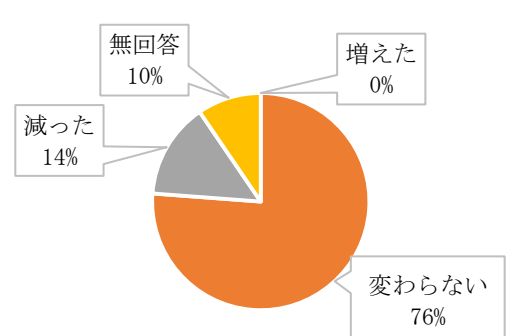
通所サービス



宿泊・短期サービス



入所・入居施設



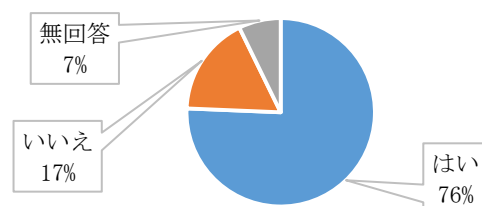
事業種別ごと内訳	増えた	変わらない	減った	無回答
居宅介護支援	1	17	2	1
訪問介護	1	8	6	1
訪問看護	0	1	2	0
訪問リハビリ	0	0	2	0
総合事業通所型	0	0	1	0
地域密着型通所介護	0	3	6	0
通所介護	2	6	12	1
認知症対応型通所介護	0	1	0	0
通所リハビリ	0	0	3	0
短期入所生活介護	0	6	3	2
短期入所療養介護	0	1	0	0
小規模多機能型居宅介護	0	9	1	1
特定施設入居者生活介護	0	7	0	1
認知症対応型共同生活介護	0	10	1	2
地域密着型介護老人福祉施設	0	2	2	0
介護老人福祉施設	0	4	2	0
介護老人保健施設	1	1	0	0
福祉用具貸与・販売	1	5	0	0
地域活動支援センター	0	0	1	0

にしなすケアネット
介護保険及び障害福祉事業所における新型コロナウイルス対策アンケート集計結果

就労継続支援A型	0	0	1	0
就労継続支援B型	0	2	1	0
児童発達支援	0	1	0	0
放課後等デイサービス	1	0	1	0
短期入所	0	1	0	0
生活介護	0	1	1	0
障害者通所支援	0	0	1	0
相談支援事業所	0	1	0	0
合計	7	87	49	9

4. 利用者、入居者のご家族からのコロナ関連の相談や不安の声はありましたか？

はい	115	76%
いいえ	26	17%
無回答	11	7%
合計	152	

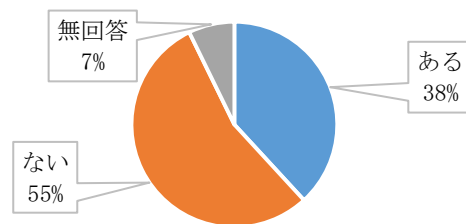


事業種別ごと内訳	はい	いいえ	無回答
居宅介護支援	17	1	3
訪問介護	12	4	0
訪問看護	3	0	0
訪問リハビリ	2	0	0
総合事業通所型	1	0	0
地域密着型通所介護	7	2	0
通所介護	16	4	1
認知症対応型通所介護	1	0	0
通所リハビリ	3	0	0
短期入所生活介護	9	1	1
短期入所療養介護	1	0	0
小規模多機能型居宅介護	8	3	0
特定施設入居者生活介護	5	2	1
認知症対応型共同生活介護	8	5	0
地域密着型介護老人福祉施設	4	0	0
介護老人福祉施設	5	1	0
介護老人保健施設	2	0	0
福祉用具貸与・販売	2	2	2
地域活動支援センター	1	0	0
就労継続支援A型	1	0	0
就労継続支援B型	3	0	0
児童発達支援	0	0	1
放課後等デイサービス	1	0	1
短期入所	0	1	0
生活介護	2	0	0
障害者通所支援	1	0	0
相談支援事業所	0	0	1
合計	115	26	11

にしなすケアネット
介護保険及び障害福祉事業所における新型コロナウイルス対策アンケート集計結果

5. コロナ対策のために他機関と連携したことはありますか？

ある		58	38%
ない		83	55%
無回答		11	7%
合計		152	



事業種別ごと内訳	ある	ない	無回答
居宅介護支援	9	10	2
訪問介護	6	10	0
訪問看護	2	1	0
訪問リハビリ	0	2	0
総合事業通所型	0	1	0
地域密着型通所介護	1	8	0
通所介護	3	16	2
認知症対応型通所介護	0	1	0
通所リハビリ	1	2	0
短期入所生活介護	7	3	1
短期入所療養介護	0	1	0
小規模多機能型居宅介護	1	8	2
特定施設入居者生活介護	6	1	1
認知症対応型共同生活介護	7	4	2
地域密着型介護老人福祉施設	3	1	0
介護老人福祉施設	2	4	0
介護老人保健施設	1	1	0
福祉用具貸与・販売	1	5	0
地域活動支援センター	1	0	0
就労継続支援A型	0	1	0
就労継続支援B型	1	2	0
児童発達支援	1	0	0
放課後等デイサービス	1	1	0
短期入所	1	0	0
生活介護	2	0	0
障害者通所支援	0	0	1
相談支援事業所	1	0	0
合計	58	83	11

1-② 面会を工夫して実施した施設の方は、その方法をご記入ください。

事業所種別	記 載 内 容
居宅介護支援	ご家族、事業所、双方の観点から電話による相談、サービスの決定、ケアプランの提示を行えた。
訪問リハビリ	TV電話 面会者を限定し、場所（面会、入所フロア以外）を定め短時間（15分）で実施。
地域密着型通所介護	マスク着用、手、指消毒、体温測定
地域密着型通所介護	マスク着用、手、指消毒、体温測定
通所介護	窓越しに面会をしてもらった
通所介護	オンライン面会、スマホ、PC等
通所介護	別ホールや離れでの面会、パソコン・アプリでの会話
通所介護	ロビーでの面会 デイルームには入らないようにした。
通所介護	マスク着用と検温測定、消毒
短期入所生活介護	スカイプを使い、オンライン面会をしていただいた。
短期入所生活介護	タブレット端末を利用したリモート面会
短期入所生活介護	タブレットを購入し、オンライン面会を実施。
短期入所生活介護	現在少人数、短時間、体温測定の上面会
短期入所生活介護	スマホでの写真撮影 一人一人の顔写真を撮って郵送 テレビ電話も開始予定
短期入所生活介護	利用者の生活するフロアとは別の部屋を面会用に使用 一回の面会で4名まで 約20分程度で面会を終えていただく マスクの着用、検温の実施
短期入所生活介護	ロビーでの面会
短期入所生活介護	オンライン面会実施
短期入所生活介護	ホールにて、又、居室での面会はすべて窓ごしで行った。 面会カードの記入(氏名、用件、体温等)
短期入所生活介護	窓越しの面会
短期入所療養介護	スカイプを利用してTV電話での面会をお願いした。7月に入ってからは、1Fで短時間での面会をお願いした。その際は検温、渡航歴、県外の移動等を確認している。
小規模多機能型居宅介護	窓越しでの対応。
小規模多機能型居宅介護	面会希望のご家族には同意書記載をしていただいた上で、タブレットによるリモート面会を実施。（または窓ガラス越しでの面会）
小規模多機能型居宅介護	検温していただき、別室又は玄関先ドア開けたまま。
小規模多機能型居宅介護	利用者に自宅で検温してきてもらう。家族の協力が難しい場合は職員が検温。
特定施設入居者生活介護	午前10時～午後16時 1回15分まで、人数は1名ずつ、事前予約、場所は玄関ホールのスペースで行っている。
特定施設入居者生活介護	入居者様への差し入れがあった場合。玄関で受け取り入居者様にお渡しする。
特定施設入居者生活介護	面会禁止・15分以内 面会簿、手洗い等の感染予防協力

1-② 面会を工夫して実施した施設の方は、その方法をご記入ください。

特定施設入居者生活介護	玄関先での職員のみへの対応・調査等どうしても面会が必要な時は、個室に透明の仕切りを利用 窓の開閉による換気とアルコール消毒 面会は6月中旬から再開している
特定施設入居者生活介護	ロビーでの面会 居室内には入ってもらわなかった
認知症対応型共同生活介護	玄関の窓越しに電話を使用し、対面で会話をさせていただく
認知症対応型共同生活介護	窓越しでの面会・電話での対応・不安な利用者の家族に電話した
認知症対応型共同生活介護	5月いっぱいには完全に面会中止とし、6月半ば以後は、玄関ホールで入居者、家族共にマスク着用のもと、短時間の面会であれば可とした。
認知症対応型共同生活介護	窓越しでの対応。
認知症対応型共同生活介護	リモート面会。 リビング、部屋の外からガラス越しに面会をしてもらった。
認知症対応型共同生活介護	テレビ電話などで県外の家族と会話ができるようにしました。
認知症対応型共同生活介護	面会中止。やむを得ず事業所内に立ち入る場合は検温実施。家族の面会は検温して相談室対応。
認知症対応型共同生活介護	今後はタブレットを利用した面会を考えています。
認知症対応型共同生活介護	玄関先で短時間で面会。 ガラス越しに面会。
認知症対応型共同生活介護	顔を見ることを希望した家族にはガラス越しの面会
地域密着型介護老人福祉施設	看取り期以外の入居者はスカイプを使い、オンライン面会をしていただいた。
地域密着型介護老人福祉施設	検温、手指、全身への消毒噴霧・マスク着用・別室での面会
地域密着型介護老人福祉施設	タブレットを購入し、オンライン面会を実施。
地域密着型介護老人福祉施設	来ていただいたご家族に写真を撮ってあげたり、一人一人の顔写真を撮って郵送。
介護老人福祉施設	タブレット端末を利用したリモート面会
介護老人福祉施設	看取り期の入居者以外はスカイプを使い、オンライン面会をしていただいた。
介護老人福祉施設	遠隔面会（LINE） 面会時間、人数の制限
介護老人福祉施設	zoomを利用したオンライン面会を実施した
介護老人福祉施設	予約制とし、窓越しの面会のみ実施
介護老人福祉施設	面会時の健康チェック 消毒 別室を用意
介護老人保健施設	タブレット端末でのオンライン面会 体調不良時はシールドマスク着用にて
介護老人保健施設	メモや手紙で日頃の様子を伝えた。 写真を撮って家族へ郵送、又は手渡した。 テレビ電話や電話を使用し、声を聞いたり映像を届けた。 時間制限を設けて面会した。

2 実際に実施したコロナ対策がありましたらご記入ください。

事業所種別	記 載 内 容
居宅介護支援	必要外の訪問を避ける（定期モニタリング等不要不急のことはTEL等で直接会わない方法で行った。）感染拡大予防（うがい手洗いマスクの徹底
居宅介護支援	事務所職員を2班に分けて分散勤務を実施
居宅介護支援	サービス担当者会議は照会ですませられるところは照会ですませています。利用者さん宅に訪問してもなるべく玄関先ですませられるところはすませ、どうしてもあがらなければならない時は、マスク着用で離れて対応しましたが、耳の遠い方はどうしても近づいて話をしなければならない方もいるので、一律とはいえません。
居宅介護支援	訪問を短時間にする、消毒をこまめににする
居宅介護支援	消毒、マスクの用意 訪問を躊躇された利用者宅には、玄関、ポスティング、郵送、電話など、その都度確認しながら対応した。 訪問時は出来るだけ見える所で消毒した行為を見てもらってから書類を渡すなどした。
居宅介護支援	手洗い、アルコール消毒、マスク着用とソーシャルディスタンスの保持、3密の回避。 コロナウイルスに関するチラシを配布。
居宅介護支援	消毒液を携行、手洗い、マスク着用、毎日検温と体調確認
居宅介護支援	訪問時の面会は避ける、ポストに投入。サービス担当者会議の開催は柔軟に対応してきた。
居宅介護支援	短時間の訪問（モニタリング） 職員のシフトを調整した。 アルコール消毒の徹底。 利用者や家族に分かりやすいよう（マスクを着けていると記憶に残るよう）目立つ柄の布マスクをして訪問した。
居宅介護支援	居宅サービス計画を郵送し、電話で説明し郵送で署名、押印したものを送ってもらった。 区分変更や退院時の担当者会議は必要なので、3密にならないように仕切りを設け、感覚を空け、少人数で行った。
居宅介護支援	事業所の分散勤務、時差出勤、窓口等に仕切り作成・消毒用エタノール等を職員に配布
居宅介護支援	食毒携帯・訪問時マスクを外さない 訪問時間の短縮・訪問前に利用者、家族の体調確認を行う 職員の検温・事業所訪問は最小限にする
居宅介護支援	訪問用の消毒薬を用意しての訪問毎の消毒。 車両のノブなどの定期消毒。 ズームなどの活用による会議。
居宅介護支援	手洗い、アルコール等の消毒。 必要最低限の外出。 提供票をFAX送信。 自宅でも最低限の買い物にとどめていた。
居宅介護支援	訪問時はマスク着用、訪問ごとに一度殺菌ウェットティッシュで手を拭く モニタリング等を割愛する同意書をもって電話でモニタリングを行う
居宅介護支援	訪問可否の確認(本人・家族) 時間短縮 フィジカルディスタンス 検温 担当者会議自粛、規模縮小 マスク着用 消毒 手洗い

2 実際に実施したコロナ対策がありましたらご記入ください。

居宅介護支援	手洗い、手指消毒の徹底 事業所の訪問自粛 他県在住の利用者ご家族との面会自粛
居宅介護支援	訪問時間の短縮、担当者会議の簡素化
居宅介護支援	手指消毒 訪問時は玄関での対応 モニタリング時、対利用者との距離の確保、又は短時間での対応
居宅介護支援	職員検温 マスク着用 手指洗い及び消毒
訪問介護	手指消毒、換気（3密を防ぐ）
訪問介護	利用者スタッフの体温計測、手、指、車内、施設内の消毒、マスク着用、換気、共用のおしぼりの廃止、コップの熱風殺菌、ランチョンマットの消毒、机や椅子が密にならないように用設置、寝具の洗濯、消毒、マシーンや椅子、トイレなど使用ごとに消毒
訪問介護	手洗い、うがい、マスク、消毒、検温 報告、会議等は訪問をなるべく少なくして、電話FAXで対応 コロナに負けない体力づくり、疲れを作らないよう健康管理
訪問介護	事務所入室の際は手洗いし、タオルは廃止し使い捨てのペーパーを置いた。 こまめに次亜塩素酸で殺菌。各自に携帯用のボトルに次亜塩素酸を入れ配布。 朝の検温。
訪問介護	訪問ヘルパー達の検温と体調を把握し支援に出向いてもらう。 利用者へ検温と体温、家族の中で東京等に出掛けた人の有無など報告して頂いてから支援を行う。
訪問介護	事務所内事務机を並列に。 訪問先、1軒1軒入る時、出る時の手指消毒。 マスク交換の実施。 朝、スタッフの検温。
訪問介護	出勤前後の体温チェック 手洗い、消毒、マスク着用 訪問時、利用者様全員の体温チェック
訪問介護	マスク着用、利用者宅訪問時の手洗いの徹底、朝の検温、利用者宅へコロナ対策のお手紙の配布。
訪問介護	生活援助、身体介護に関わらず、利用者様の支援前の検温。 訪問前後の手指消毒の徹底。（買い物支援等で外出した際も同様） 支援中はマスクは外さない。 遠方、特に肝性拡大している都市（東京・埼玉・神奈川・千葉等）に住んでおられるご家族の帰省自粛の声かけ。 ヘルパーが訪問しなくても生活に支障がない方に限り、感染拡大している都市の人と接触した場合、接触してから10日～2週間程度は訪問を控えさせて頂く声かけを行っています。
訪問介護	訪問時の体温測定、訪問前後のアルコール消毒、マスク着用、必要時手袋、エプロンの着用。
訪問介護	職員検温、マスク着用、手指洗い及び消毒
訪問介護	訪問時、窓を開け換気する 必ずマスクをつける こまめな消毒、手洗いはペーパータオル、タオルを使用 排泄、調理にはエプロンを使用し、使用後の扱いに充分気を付ける

2 実際に実施したコロナ対策がありましたらご記入ください。

訪問介護	毎日の検温 マスク着用 次亜塩素酸水にて消毒 手洗い、うがいの徹底 トイレ内、手拭きタオル撤去 車は外気モードへ切り替える
訪問介護	体温測定、マスク、フェイスシールド、防護服（ヤッケ）、手袋、靴下カバー、ナイロンエプロン、アルコール、アルコールシートを各自持参、着用して訪問。
訪問介護	ヘルパーの出勤前体温測定。 マスク
訪問看護	事務所に出入りする方には体温測定、消毒液の設置。 事務所に戻ったらまず手洗いスタッフに消毒液の持参。毎日の体温測定。
訪問看護	健康観察、検温は出勤前、出勤後の2回記録している。 体調不良者は休業。復帰前に必要があればPCR検査を施行。 マスク、手袋、必要時エプロン、フェイスシールド、手指消毒の携行。 事務所内の消毒、清掃
訪問リハビリ	一般的なものはすべて実施。（手洗い・マスク・面会制限・外出制限・体温チェック（職員・業者）、業者の入場制限・通所入所職員間の交流制限
訪問リハビリ	スタッフ出勤前後2回の検温、マスク着用、手指消毒、職場環境と訪問車両の消毒の徹底、利用者へ体温測定のお願い リモートでの会議 職員と利用者への感染予防に対する注意喚起
総合事業通所型	サービス時間の短縮、人数制限（密にならないため）→送迎車、施設内等
地域密着型通所介護	利用者へのうがい・手洗いを1日3回、席を離して着席してもらい、室内の換気（寒い時期は時間を決める。暑くなってからは常時開窓）
地域密着型通所介護	午前午後の検温 マスク着用 こまめな消毒 なるべく対面にならないよう配席に注意している。
地域密着型通所介護	座席対面時は衝立をして対応。 自宅での検温、送迎時の検温等の徹底。
地域密着型通所介護	利用者、職員の手指の消毒。マスク着用。サービス終了後の施設内の消毒。
地域密着型通所介護	対面の席はなるべくさける。手洗いをを行う。車のドライブを控える。空気の入れかえ。
地域密着型通所介護	対面の席はなるべくさける。手洗いをを行う。車のドライブを控える。空気の入れかえ。
地域密着型通所介護	ご利用様は利用日当日の朝、職員は毎日自宅での検温、マスク着用、利用中の手洗い消毒の徹底やご利用者様同士が真正面にならないような座席配置、会話の際可能な限り対面は避け横から行う。常時又は定期的な換気や備品等の消毒の実施
地域密着型通所介護	石けんを使用した手洗いとうがいを来所時、飲食前に行う。 定時での換気、使用した所のアルコール消毒。 定時での検温と常時マスクの着用。 着席時、対面にならないよう距離を取る。
地域密着型通所介護	職員の出勤時に検温 マスク着用 手指消毒及び手洗い ご利用者のイスの位置は1m話す ご利用者のマスク着用を促す、ディホールの換気。

2 実際に実施したコロナ対策がありましたらご記入ください。

通所介護	職員自宅での測定と出勤しての検温測定。チェック項目にて状態把握。 利用者のチェック項目を自宅で行い、検温測定。
通所介護	デイホールのテーブル配置を変更した。 送迎車の消毒 送迎乗車前の利用者の検温
通所介護	換気・テーブル配置の変更にて利用者間のソーシャルディスタンスの確保 マスク着用の徹底・職員利用者の1日2回の検温 苑外活動の自粛 送迎車の消毒 音楽療法、書道教室の自粛
通所介護	車に乗ってもらう前に検温と手の消毒。 来所後の消毒、テーブルの消毒。 トイレ使用後の消毒、リハビリ器具の消毒。 こまめに窓を開け換気の実施。
通所介護	空気の入れかえ アルコール マスクの着脱 うがい、手洗い
通所介護	テーブル配置人数を少なくする。検温表を配布し、ご家族様を含めご利用日に検温、記入し持参してもらう。種子消毒、テーブル、椅子、トイレ等1日数回の消毒、ダイルーム内の換気など
通所介護	利用時の朝、家での検温、37.0度以上は利用を中止する。 手指消毒、マスク着用、手洗い 3つの消毒(アルコール・次亜塩素酸・次亜塩素酸ナトリウム)を用途に分けて施設内等を消毒する。 食事時密にならないように配席の工夫、換気の徹底 車内消毒を送迎後、朝夕行う。
通所介護	利用自粛のお願い 室内、備品、車両の消毒 定時換気 レク材を使用したレクの中止 本の貸し出し中止 外部からの人の入場制限 ご利用者の自宅での検温 スタッフの検温 ホールのテーブルの間隔広げる うがい、手洗い、アルコール消毒 熱発者の利用自粛
通所介護	利用者来所持手洗い、消毒(荷物等) 機能訓練終了後の消毒 家族への確認
通所介護	利用時の朝、家での検温、37.0度以上は利用を控えてもらう。 手指消毒、マスク着用、手洗い マスクは布マスクを毎日粗い提供。施設で1人2枚以上提供する。 3つの消毒(アルコール・次亜塩素酸・次亜塩素酸ナトリウム)を用途に分けて施設内・居室を消毒する。 食事時密にならないように配席の工夫、換気の徹底 居室の換気
通所介護	ホールアルコール除菌、換気、職員検温(SPO2)など
通所介護	送迎時の検温、手指消毒
通所介護	朝、送迎時の自宅にて検温(同居家族の方にもお願い) 消毒のチェック表を作成し、テーブルや手すりのこまめな消毒 テーブルの配置、座席の制限・常時の換気・使用したタオル、ブランケットなどを洗濯

2 実際に実施したコロナ対策がありましたらご記入ください。

通所介護	テーブル横長にし飛沫対策としてビニールを張り予防を行った。
通所介護	出勤前の検温、マスク、消毒の徹底
通所介護	手指消毒、マスクの着用 送迎車内の消毒 玄関にカーテン設置
通所介護	職員、利用者のマスク着用 施設に入る際の手指消毒 定時に設備品、手指消毒
通所介護	検温、マスク着用、消毒、家族へのコロナ対策の説明。
通所介護	手指の消毒、マスク着用。 換気 蜜を避けた間隔の維持。
認知症対応型通所介護	感染症対策のお知らせとお願いのお手紙配布。 職員と利用者様のマスク着用、消毒、送迎ごとの送迎車の消毒 乗降前後の利用者の手の消毒、ボードの設置・ケアマネへの実績、利用状況をFAXでの対応にした月があった。
通所リハビリ	利用者様の石けんを使用しての手洗い、消毒。送迎終了後送迎車の消毒手すりドアノブ、テーブル、イスなどの消毒。色えんぴつ、マジック等の消毒。職員利用者のマスクの着用。利用者のマスク置きを使用。座席の間隔をあける。カラオケ・ゲームを控える。
通所リハビリ	4月13日～縮小営業（提供時間の短縮、頻度の調整）代替訪問、段階的な通常営業へ戻す。 利用者：体温チェック（利用前後）、マスク着用、利用前・食前消毒、体操時の声出し自粛。 職員：体温チェック（乗務前後）、マスク・メガネ着用、一作業一消毒、飲み会の自粛。 施設環境：消毒（テーブル、イス、ロッカー、車椅子、ベッド、車内等）常時換気、利用者・職員のソーシャルディスタンス。
通所リハビリ	利用者来所持、手洗い、うがいを徹底している。 来所前に検温、必要時随時検温をしている。
短期入所生活介護	面会制限 ロングショートステイのみの受け入れ
短期入所生活介護	迎え時の検温、本人と家族の体調の聞き取り マスク着用、朝・夕の検温・消毒・換気・送迎車の消毒 37.5以上の発熱、呼吸器症状が認められた際の利用中止と中断
短期入所生活介護	新規入所、又は短期入所の方はお断りした。 長期(ロング)入所の方は30日超えるの帰宅を制限した。 入り口に感染経路を把握するために記帳台を設置した。
短期入所生活介護	職員の体調管理。ご利用前には、ご本人ご家族に体温を計っていただき、利用の有無を確認している。（37.5℃以上は基本、利用中止）※ショートステイ館内に入る時には、アルコール消毒、くつ底の消毒を実施。また定期的に手をふれる場所はアルコール消毒を実施。換気等。
短期入所生活介護	利用時の朝、家での検温、37.0度以上は利用を控えてもらう。 手指消毒、マスク着用、手洗い マスクは布マスクを毎日粗い提供。施設で1人2枚以上提供する。 3つの消毒(アルコール・次亜塩素酸・次亜塩素酸ナトリウム)を用途に分けて施設内・居室を消毒する。 食事時密にならないように配席の工夫、換気の徹底 居室の換気
短期入所生活介護	対面時、衝立をして対応 各居室及び施設内の消毒 手洗いと消毒
短期入所生活介護	施設内定期的な消毒、面会制限、職員利用する前の体温測定、換気、ご家族含めてコロナウイルス感染予防チェックリスト、アルコール消毒設置など

2 実際に実施したコロナ対策がありましたらご記入ください。

短期入所生活介護	送迎時の検温、体調確認 利用時の検温回数の追加 送迎車両の消毒
短期入所生活介護	定期でショートステイを利用している方への長期利用の切り替えの推奨（外部との出入りを減少させる為）。 チェックイン・アウト時の検温（自宅出発時、施設到着時）。 会議行事の開催縮小もしくは中止。
短期入所生活介護	手洗いうがい、全職員マスク着用。 消毒液を作った。 受付にフィルムを貼った。 施設内の消毒。 日に2回の検温。
短期入所療養介護	洗濯物を1Fでの受け渡しに指定させていただいた。 洗濯サービスのご利用を促した。 フロアの消毒を欠かさないようにした。
小規模多機能型居宅介護	職員出勤時、検温・手洗いを済ませてから利用者・多職員と接触。マスク着用。 通い利用者は自宅で検温し、施設到着後も検温。車内でのマスク着用。 利用者・スタッフ乗り降りの度に車内消毒液で拭き掃除実施。 訪問サービス時、職員マスク着用・手洗い・消毒・手袋着用。
小規模多機能型居宅介護	職員…出勤前の検温、マスク着用、衛生用品の確保 利用者様…1日2回以上の検温（送迎時の乗車前、午後）通知文の配布、施設内の消毒、会議等開催方法の検討
小規模多機能型居宅介護	宿泊利用者への面会制限手指消毒、手洗い、うがいの励行 施設内のピューラックス消毒 マスク着用 飛沫感染防止のためカラオケレク、嚙下体操の制限・定期的な換気
小規模多機能型居宅介護	検温、マスク着用、手洗いうがい、不要な外出を控えた 車内、施設内の消毒
小規模多機能型居宅介護	面会等の入室禁止、業者等の玄関での対応（アルコール消毒、検温の実施） 利用者、職員の検温 1日2回 通所利用者は乗車前の検温 対面にならないような席の配置 マスクの着用、手指消毒・こまめな手洗い、手指消毒 ボランティアの受け入れ自粛・利用者、職員への感染予防の周知
小規模多機能型居宅介護	フロアを広げて座る位置変更。ソーシャルディスタンス保つ。向かい合わない。 となりに座らない。 手すり、ドアノブ、イス、テーブル等の消毒。 利用前の検温
小規模多機能型居宅介護	日中の通所の人数制限、訪問への移行 居室を静養室として緊急時の隔離スペース確保・職員、来客、利用者の検温
小規模多機能型居宅介護	検温、消毒の徹底
小規模多機能型居宅介護	検温 手洗い、うがい、マスク着用
小規模多機能型居宅介護	ボランティア受け入れ中止。 業者の施設内への立ち入り制限。 外出行事の取りやめ。 リモート面談
小規模多機能型居宅介護	ボランティアの受け入れ中止。 業者の施設内の立ち入り制限。 外出行事の取りやめ。

2 実際に実施したコロナ対策がありましたらご記入ください。

特定施設入居者生活介護	<p>県外の家族に対しては6月19日までは面会を控えてもらった。</p> <p>手指消毒、マスク着用、手洗い</p> <p>マスクは布マスクを毎日粗い提供。施設で1人2枚以上提供する。</p> <p>3つの消毒(アルコール・次亜塩素酸・次亜塩素酸ナトリウム)を用途に分けて施設内・居室を消毒する。</p> <p>食事時密にならないように配席の工夫、換気の徹底</p> <p>居室の換気、入居者様の外出を控えた。</p>
特定施設入居者生活介護	<p>家族面会の制限・ボランティア等、外部の出入り制限（ボランティア、理髪、コンビニ、ヤクルト）</p> <p>職員へのマスク配布・職員出勤前の検温</p>
特定施設入居者生活介護	<p>検温、手指消毒、マスク着用</p> <p>ご利用者や職員の不要不急の外出自粛</p>
特定施設入居者生活介護	<p>職員による医療機関の代理受診・面会制限</p> <p>施設内換気、消毒、エアコンフィルター高性能化</p>
特定施設入居者生活介護	<p>一般的な事ですが手洗い、消毒の強化及び職員は朝の検温マスクの着用を徹底に行なった。</p>
特定施設入居者生活介護	<p>利用者、職員の手指消毒</p>
特定施設入居者生活介護	<p>検温（朝、夕）</p> <p>職員のマスク着用</p> <p>外部来館者の制限</p> <p>館内の消毒作業</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>職員のマスク着用・検温</p> <p>来客の検温</p> <p>利用者、職員の手洗い、手指消毒</p> <p>手すり等の消毒</p> <p>こまめの換気</p> <p>職員の私生活での3密を避ける</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>職員出勤時、検温・手洗い後利用者・多職員と接触。マスク着用。</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>全職員に使い捨て手袋や携帯用の手指消毒剤を配布し、プライベート時における感染予防策とした。</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>マスクの着用・出勤前検温（スタッフ）・面会時検温（家族）</p> <p>手指消毒、手すり・テーブル・椅子等の消毒</p> <p>外出の自粛</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>職員の自宅と事業所玄関先での検温。施設内の消毒。</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>検温、消毒の徹底</p> <p>ご家族様も面会の際は事前に連絡を頂き十分に換気をした部屋での短時間での対応。</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>特別なことは行っていません。全国で熱発者などに対するルールを共有した。</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>出勤前、出勤時の検温と面会の制限</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>ボランティア受け入れ中止。</p> <p>業者の施設内への立ち入り制限。</p> <p>外出行事の取りやめ。</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>病院受診に外出する際、検温の実施、帰所した際にも検温と手洗い、うがい、消毒を実施</p> <p>マスクの使用（職員は終日、入居者は外出の際）</p>
認知症対応型共同生活介護	<p>外出行事を中止し施設内でレクを工夫して行った</p> <p>職員の出勤時の体温測定、マスク着用、外出自粛、手洗い消毒をまめに行う。</p>

2 実際に実施したコロナ対策がありましたらご記入ください。

認知症対応型共同生活介護	3密の回避・職員の毎日の検温、行動歴の記録・身体的距離の確保 マスク着用、手洗い、手指消毒、うがいの徹底
認知症対応型共同生活介護	出勤時、退勤時の職員の検温 手洗いと手指消毒の徹底 定期受診のある方は出来るだけ外出せず薬の処方をしていただく
地域密着型介護老人福祉施設	マスク着用、手洗いうがい、手指消毒。 座席対面時は衝立をして対応。換気
地域密着型介護老人福祉施設	出勤前、出勤時の検温 マスク着用 面会制限 外出行事の制限 ボランティア、散髪業者等受け入れ中止
地域密着型介護老人福祉施設	面会制限、利用制限
地域密着型介護老人福祉施設	手洗いうがい、全職員マスク着用。 消毒液を作った。 受付にフィルムを貼った。 施設内の消毒。 日に2回の検温。
介護老人福祉施設	利用者同士の食堂の席を対面にしない
介護老人福祉施設	マスクの常時着用 職員の食事時のソーシャルディスタンス アルコール消毒の徹底
介護老人福祉施設	面会制限 利用者の手指消毒の徹底 換気の徹底 職員の毎日の検温
介護老人福祉施設	マスク着用 手指消毒 換気 検温と記録 指針の策定
介護老人福祉施設	手洗いうがい、全職員マスク着用。 消毒液を作った。 受付にフィルムを貼った。 施設内の消毒。 日に2回の検温。
介護老人福祉施設	チェイン・アウト時の検温（自宅出発時、施設到着時）。 会議行事の開催縮小もしくは中止。
介護老人保健施設	毎日の検温（自宅起床時、出勤時） 家族の方への検温の協力依頼（面談、洗濯物交換、面会等） 使用したイス、テーブル等の除菌の徹底。 感染者が出た場合のフローアやスタッフ体制の確認。
介護老人保健施設	1の記載内容と同様 2/26より全館面会禁止 感染対策マニュアルと資料にて職員教育の実施
福祉用具貸与・販売	マスク着用、訪問時の時間短縮
福祉用具貸与・販売	マスク、アルコール消毒、ヒビテン消毒、手洗い。
福祉用具貸与・販売	4月、5月、6月まで訪問を自粛。急を要する訪問以外は訪問は行わないようにした。

2 実際に実施したコロナ対策がありましたらご記入ください。

福祉用具貸与・販売	手指の消毒 マスク着用 レンタル品の引き上げ時の除菌
福祉用具貸与・販売	居宅、包括等への訪問自粛 マスク着用、手洗い消毒の徹底
地域活動支援センター	利用者数の調整・自宅待機 室内・車内のパーティションの設置
就労継続支援B型	次亜塩素酸水が効かない、体に害があると少し前に報道で話題になり、その後NITEにて有効とされましたが、私たちの事業所では十数年前から使用しています。同法人の矢張りんごの木では製造をしています。新鮮で安全な次亜塩素酸水を食事やおやつ前に職員やこどもの手に噴霧しています。
就労継続支援B型	利用時の使い捨てマスク着用。 利用前自宅での検温依頼と利用時非接触体温計での検温。 手洗い、うがい、消毒、換気の徹底。 送迎車内での会話自粛。 公共交通機関利用自粛要請。
児童発達支援	利用に際しての同意書を保護者に頂きました。 建物内の入場を子どもだけに制限しました。 手洗いうがい消毒の徹底と、健康管理（バイタルチェック）を厳密化しました。
放課後等デイサービス	消毒、換気、手洗い、うがい、マスク着用の徹底、健康観察、検温の実施、遊ばせ方の工夫
放課後等デイサービス	検温・マスク着用・手指消毒・ソーシャルディスタンス、換気、送迎中も換気、外出自粛、体調不良の場合はお断り
短期入所	外出自粛期間中、お弁当を持参していただいた
生活介護	サービス提供時間の短縮 食事提供する時には、全フロア使用し対面や密集を防ぐ。
生活介護	手指消毒徹底、食事・活動場所の分散 各部屋・送迎車輛のシールド装着 定期的な除菌・換気
障害者通所支援	各種訪問系のサービスも利用できなくなったなか、在宅支援策としてリモート（スマホ）による活動を実施。
相談支援事業所	面会や訪問を行わず、電話での対応を行った

4 利用者、入居者のご家族からのコロナ関連の相談や不安の声はありましたか？

事業所種別	記 載 内 容
居宅介護支援	<利用者> 感染が怖いので病院に行きたくないし表に出たくない <利用者家族から> 感染が怖いので、出したくない（本人は出たいが、家族が拒否）訪問はしないでほしい（本人はOKでも家族が拒否）
居宅介護支援	利用者：感染したら致命傷になるので、デイサービスなどを利用して本当に大丈夫なのか？ 家族：感染したら致命傷になるので、デイサービスなどを利用して本当に大丈夫なのか？
居宅介護支援	<利用者> 通所リハに通う予定だったが、コロナが不安なのでとりやめですと言って利用されていない方がいました。訪問リハなども拒否です。 感染するのがこわいので、外に出ないようにしているなど <利用者家族から>
居宅介護支援	利用者：高齢なのでうつったらこわい。リハビリはしたいけど…不安で一杯。
居宅介護支援	通所サービス利用者が利用して感染したら、と心配していた。 通所サービスではどのような予防対策をしているか問い合わせ 送迎車に乗るのが心配だが人数制限していないのか、予防対策はしているのか、と問い合わせ。 近隣住民で感染者は出ていないか問い合わせ （近隣地域での感染者発生を受け）どこで出たのか。ケアマネだから知っていると思った。 マスクや消毒液が手に入らない。（持病、高齢等で）必要なのに買えないので出かたくない。
居宅介護支援	<利用者から> ・高齢で疾患もあるので、感染したらと思うととても怖い。 <家族から> ・無症状でも他人に感染させてしまう
居宅介護支援	家族：コロナがはやっているが、デイサービスやショートステイに行かせても大丈夫か。他の利用者はサービス利用を続けているか。デイやショートではコロナ対策されているのか
居宅介護支援	更新の時期を迎えた利用者が認定調査に不安を感じていた。
居宅介護支援	あまり訪問してほしくないと言われた。 怖くてサービスが使わせたくないと言われた。 コロナでサービスが停止してしまったらどうしたらよいか。
居宅介護支援	サービスを利用したい気持ちはあったが、家族に休むように言われ、家族が仕事など休むと困るのでお休みしたが、レベルの低下を心配していた。 家族より、『家ではお風呂に入れず、認知症が進むし、一日中付いていられないので感染のリスクは覚悟で利用するしかないです』と不安があるが利用している方が多くいた。
居宅介護支援	訪問面会時の感染リスク
居宅介護支援	かかったら心配（利用者） 持病があるので感染すると命に関わるので利用回数を減らした（家族）
居宅介護支援	コロナ感染によるサービス利用の不安。 体調不良でも受診したくない。（コロナがうつるなど） コロナによるサービス事業所の拒否や周囲からの差別。
居宅介護支援	訪問可能かどうかTELを入れ、ポスティングか玄関先の訪問化の確認後訪問しました。
居宅介護支援	短時間で利用できたので助かった

4 利用者、入居者のご家族からのコロナ関連の相談や不安の声はありましたか？

居宅介護支援	主介護者と2人暮らし。週3デイ利用。 自宅だけでは刺激がないが、生活に支障はない。行かせた方がよいか、暫く休ませた方がよいか悩む。
居宅介護支援	<利用者から> ・コロナだから、デイサービスに行きたくなくなった。 ・家族が埼玉県在住の為、面会再開をどのタイミングでして大丈夫なのか。 ・コロナが心配なので、病院受診を控え薬を郵送してもらうことにした。 ・今後心配なので、往診に切り替えようと思っている。
居宅介護支援	デイサービスの利用が出来ないと困る
居宅介護支援	<利用者から> ・コロナ感染の不安、終わりが見えない不安。 ・サービスを利用すると感染のリスクが高くなるため、利用を控える。 ・県外在住の家族が帰省したら、デイの利用は控えた方がよいのか。
訪問介護	利用者：コロナにかかった人はいますか？の質問の電話があった。
訪問介護	<利用者> 毎日のようにテレビでコロナ情報を見ているので、高齢な利用者はとても不安があり、自分がかかったら死んでしまうと気にされている方が多い
訪問介護	利用者：ヘルパーは色々な家を回ってくれるから万が一持ち込まれたらどうしようなど
訪問介護	遠方に住んでいる利用者家族よりヘルパーさんがもしコロナになったら利用者(高齢の1人暮らし)の支援は入らなくて良いと報告を受けました。
訪問介護	<利用者から> ・いろいろな利用者様のお宅へ出入りしていて大丈夫なのか。
訪問介護	<利用者から> ・自分が感染しないか。 ・遠方の家族に会えない、来られてもお互い感染しないか心配。 など
訪問介護	利用者：マスクは必要以外外さないで欲しい。買い物が終わり帰ったときも手洗いをしたい。
訪問介護	利用者：ヘルパーの訪問が不安であると話される利用者様がおりました。→手指消毒、マスク着用の徹底、出勤前の検温、体調不良者の訪問はさせない事を説明→納得。
訪問介護	一日中、テレビでコロナ関連のニュースを観ているため不安がある方が多い
訪問介護	職員、利用者コロナ感染者はいるかという問い合わせ。
訪問介護	「支援に入るのに大丈夫か」と電話が入ったので、体温測定、体調管理(確認)している事伝え、支援の前にはアルコール消毒での対策で入りました。
訪問看護	利用者：独居の高齢者は特にコロナについての知識もなく、感染状況の情報も入っていないことがわかった。
訪問看護	利用者：デイサービスやショート利用、買い物等の外出に対する不安の表出あり。 家族：同上
訪問看護	消毒やマスクが手に入らない。・職員が流行地域に出かけていないかとの問い合わせ。
訪問リハビリ	<利用者> 利用者から感染者が出ていないか？家族に染すわけにはいかない 他の利用者は大丈夫か？子供の来訪がなくなった。 <利用者家族から>
訪問リハビリ	感染に対する心配から、しばらく利用を休みたいという方が多くいた。
総合事業通所型	利用者：あまり密になりたくない、でもまたみんなとやりたい。 家族：しっかり消毒してほしい、密着させないでほしいなど

4 利用者、入居者のご家族からのコロナ関連の相談や不安の声はありましたか？

地域密着型通所介護	利用中マスクをした方がいいのかと心配される方がいた 発熱などの体調不良の利用者さんがいるとコロナではないの？と聞いてくる方がいた
地域密着型通所介護	<利用者から> ・持病を持っている為、利用する事やさせる事が不安。
地域密着型通所介護	<利用者から> ・デイ利用時の対応面を求められた。 ・感染者と直接的な接触はなかったが、間接的にあった場合にはどうしたらいいか。
地域密着型通所介護	<利用者家族から> 当苑を利用の際、施設が小さいので、感染リスクが高いのではないのでしょうか？という理由でお休みされる方がいました。
地域密着型通所介護	利用者：休みについての問い合わせ。 家族：休みについての問い合わせ、コロナ対策についての問い合わせ。
地域密着型通所介護	利用者：休みについての問い合わせ。 家族：休みについての問い合わせ、コロナ対策についての問い合わせ。
地域密着型通所介護	<利用者> 海外への語学留学をしていた孫が帰国し同居するとの話があり、家族間で出た。ご利用様はDSを利用したいが可能かと。相談あり、国の指示通り検査を受け、陰性、そして、ある程度の期間待機状態になって症状も無く、健康なのであれば可能と回答する。また併せて体調に変化がご本人様ご家族様に出た場合は早急に連絡をして頂くように伝える。
通所介護	家族は新型コロナウイルスが心配で休むよう言ったが、本人が反対を押し切って利用した。自宅に居られる方に対して利用を控えるよう要請はしていないのかと質問があった。 定員25名であり、20名越えて利用者があると、多すぎると嫌がる利用者がいた。
通所介護	利用者家族より感染に対する不安があり利用を自粛された方がいた（3名）
通所介護	<利用者から> ・自分が感染すると、嫁に移してしまうことを心配されデイ利用を休む。
通所介護	<利用者> 「この辺はどうなの？」「休みになるの？」と質問あり <利用者家族から> 時短営業や休業になるのかの問い合わせ
通所介護	コロナが流行る前までに入院されていた利用者が、利用したいと相談があったがDr. から利用を控えるように言われて、利用を控えた。 コロナが怖いから利用を控えると言う人もいたが、1ヶ月～2ヶ月休む人はいなかった。1回、2回で済んだ。
通所介護	DSを利用してもよいのか？という声
通所介護	利用者の息子が東京で、会ってから2週間行かない方が良いかと相談あり。デイで感染したら責任をとってくれるのかと問い合わせあり（利用者） 自粛させたいがずっと自宅にいるとイライラして体調を崩される、感染した際の治療費の責任の問い合わせあり。
通所介護	施設内でのクラスターが不安 コロナ感染が不安 コロナを感染させるかもしれないし、感染するかもしれない。
通所介護	どのようになったら、施設をお休みにするか。
通所介護	コロナについて対策していることは何か問い合わせ・営業していいのか、というご意見
通所介護	緊急事態宣言発令前にご家族の方から当事業所も休業になってしまうのか心配の声がありました。
通所介護	面会はいつ頃からなのか

4 利用者、入居者のご家族からのコロナ関連の相談や不安の声はありましたか？

通所介護	コロナに過敏になっている利用者、特に発熱も無いのに自分は感染したのではと不安になっていた。
通所介護	施設内でコロナに感染している人はいないか。施設を利用することで感染しないか等、不安の声があった
通所介護	<利用者から> ・感染の恐怖から利用の中断。
認知症対応型通所介護	当事業所が閉鎖になったりしないか不安の声があり、事業継続を希望される声が多かった。
通所リハビリ	<利用者> 感染が心配なので、落ち着くまで休みたい。施設ではいろいろな予防対策をしてくれてありがたい <利用者家族から> 職員さんはいろいろ気をつけないといけないから大変だね
通所リハビリ	利用者から：那須塩原市で感染者が出た際に「どこの人？」「〇〇に入院してるんでしょ？」の様な事をおっしゃられている方が多かったです。
通所リハビリ	感染対策の状況の問い合わせがあった。
短期入所生活介護	ロングショートのための受け入れだったので、2～3日泊まりたい方や毎週末のみ泊まりたい方の対応が出来ず、いつになったら通常通りとなるのか聞かれる事があった。
短期入所生活介護	感染を心配し、利用をキャンセルされた方がいた
短期入所生活介護	コロナを持ち込んだら大変とご家族も協力的だった。 面会したい、せめて顔だけでも見せてほしいとの声があった。 利用者同志で「あの人マスクしてない」の声があちこちで聞かれた。
短期入所生活介護	<利用者> 長期利用されている方は、特に面会が出来なくなると、不安に感じられる方が多い（ショートステイ） ご家族からも面会が出来ないと不安や心配なことがある。 <利用者家族から> 自宅よりは施設に居てくれた方が安心する。 面会が出来ないと不安や心配の声がある。
短期入所生活介護	月の大半をショートステイ利用されている方で、毎月1回は家にチェックアウトしていたが、R2,3頃より長期利用となった。以後、帰るタイミングで迷われている。（家に帰る機会がないと、認知症が進んでしまうのでは…と心配されている）
短期入所生活介護	<家族から> ・面会制限の期間。 ・外部医療機関を受診しなくてはならないが、施設で行うことはできないのか。
短期入所生活介護	家族：面会したいがどうなのかなど
短期入所生活介護	<家族から> ・長期利用のご家族から、本人と面会したいと相談を受けた。
短期入所生活介護	利用者：県内の遠方の大きな病院への定期通院があるため心配。 家族：自営業で飲食店を営んでいるのでお客さんから自分に移り、自分から利用者本人にうつしてしまわないか心配。
短期入所療養介護	<利用者> コロナでも関係なく自由に出入りしたいり、床屋などの外部サービスを受けたいという声が多かった。 不安の声は多くなかった。 <利用者家族から> 在宅復帰に向けた外泊外出は控えたいという声や逆に在宅復帰したいのに、どうにか外泊外出はできないかという相談がもあった。

4 利用者、入居者のご家族からのコロナ関連の相談や不安の声はありましたか？

小規模多機能型 居宅介護	<利用者家族から> 遠方にいるご家族から、今までは週末は介護の為、那須塩原へ帰ってきていたが、帰ってくることで、自分がこちらへ持ち込んでしまう恐れがあるという不安。そういった状況も考慮して支援をお願いしたい。 事業所での感染者が確認された場合サービスはどうなるのか？という不安の声もありました。
小規模多機能型 居宅介護	家族が東京在住で県を跨ぐ移動が制限されており病院受診の同行が出来ない。
小規模多機能型 居宅介護	通所の方がご家族から感染してしまわないか
小規模多機能型 居宅介護	黒磯地区でコロナ感染者が出た時「そちらは大丈夫でしょうか？」「念のため休みます」 週末に温泉に行ってしまった。不特定多数の人と接してしまっ。「大丈夫でしょうか？」「念のため休みます」
小規模多機能型 居宅介護	自粛期間中の家族間のストレス増加 通院時の対応
小規模多機能型 居宅介護	ご家族が発熱してしまった場合、利用出来ないのかという声がありました。 1～2日休んで頂く対応を取りました。
小規模多機能型 居宅介護	<家族から> ・当時業所が万が一使えなくなってしまった場合についての相談が一件あった。
小規模多機能型 居宅介護	<家族から> ・病院への受診、対応の相談。 ・面会について。
特定施設入居者 生活介護	コロナ渦であるが面会できますか。 コロナ渦であるので面会を控えます。 外出できますかなど(家族も施設側よりで控えてもらえる所は控えてもらいました)
特定施設入居者 生活介護	面会の要望はあったが、通知と電話での説明により納得いただいた
特定施設入居者 生活介護	高齢だから感染したら心配。・病院に通う事も心配。・施設に感染者が出たらどうするのか。
特定施設入居者 生活介護	利用者：面会はいつからできるの？通院はどうするのか？外出は出来ないのか？ 家族から：基本的には利用者様同様の声が多かった。衣替えの季節に自粛だったので衣類の心配の声が寄せられた。
特定施設入居者 生活介護	面会できないことでの不安、心配・面会を再開してもうつしてしまわないかという不安。
認知症対応型共 同生活介護	面会に行きたいのはやまやまだが、このような状況下では致し方ないので我慢するという声が多かった。
認知症対応型共 同生活介護	面会や体調面に関する問い合わせ。
認知症対応型共 同生活介護	県外在住のご家族様が面会等についての相談は多くありました。
認知症対応型共 同生活介護	対応方法(予防)に関する問い合わせはありました。
認知症対応型共 同生活介護	<利用者から> ・外に出られない事だけでなく、ボランティアや理髪のサービスが受けづらい事。 <家族から> ・面会の自粛がある事を気にされていた。 ・コロナの感染源にならないように、しばらく施設には直接来れないとの声もありました。

4 利用者、入居者のご家族からのコロナ関連の相談や不安の声はありましたか？

認知症対応型共同生活介護	<家族から> ・体調、様子について。 ・面会について。
認知症対応型共同生活介護	もし入居者の方からコロナが出た場合、施設としてどう対応するのか、自宅では見られないので受け入れ先は？
認知症対応型共同生活介護	面会制限の通知、連絡をし理解していただいている。
認知症対応型共同生活介護	いつになったら面会できますか？との問い合わせがご家族から多くあった。訪問理美容を利用したいのに、いつになったら髪をきれえますか？もう待てません…と利用者より
地域密着型介護老人福祉施設	<利用者から> ・Qもし感染者がいた場合、利用中の人はどうするのか？と相談を受けた。 →A市役所及び保健所の指示を仰ぐ旨を伝えている。
地域密着型介護老人福祉施設	<利用者から> ・「家族が来ない、会いたい」と不安になる方がいました。 <家族から> ・入居様に会いたい、様子が気になるとの意見をいただいた。
地域密着型介護老人福祉施設	面会制限等における制限解除の時期
地域密着型介護老人福祉施設	<家族から> ・面会方法について。
介護老人福祉施設	面会の再開について
介護老人福祉施設	面会、外泊、外出、通院時の見守りはできないかと相談があった
介護老人福祉施設	面会の制限、禁止により家族に会えないことへの不安があった
介護老人福祉施設	<家族から> ・面会方法について。
介護老人福祉施設	利用者：県内の遠方の大きな病院への定期通院があるため心配。 家族：自営業で飲食店を営んでいるのでお客さんから自分に移り、自分から利用者本人にうつしてしまわないか心配。
介護老人保健施設	自宅は心配なので入所させてほしい。 面会の制限がさみしい。 本当は春頃自宅復帰を予定していたが、感染が心配なので延期してほしい。
介護老人保健施設	<利用者から> ・面会について。 ・ボランティアや行事が減り悲しい。 <家族から> ・都心部からの面会はできるか。 ・いつ頃面会介助になるか。
福祉用具貸与・販売	利用者：訪問を控えて欲しい、感染が怖いので来ないでほしい等。
福祉用具貸与・販売	入院時の面会が出来ない。 体調的には退院できるが、病院課から退院延期を言われた。
地域活動支援センター	自粛による利用者のストレスについて
就労継続支援B型	西那須野（こども館くれよんのすぐ近く）でコロナ感染者が出たという噂が流れ、数人の保護者から心配だから利用を控えますと言われました。根拠のない噂が不安をおおるのを身近に感じました。

4 利用者、入居者のご家族からのコロナ関連の相談や不安の声はありましたか？

就労継続支援B型	利用者家族との懇親会の開催について
児童発達支援	一般的な不安の声は多く聞かれていました。子どもを遊ばせられる場所が無く、自宅で大変だった、もしもの時に医療機関に行くことも不安との声がありました。
放課後等デイサービス	感染の拡大やそのリスク、見えない不安 3月から学校が休校になったため、学習の遅れに対する不安。いつから学校が始まり、学校生活は安全なのか等
放課後等デイサービス	本当は利用したいが、広域から利用者が来所されていることもあり、予防対策を行っていても心配で利用をキャンセルする方がいました。 那須塩原市で感染者が出た時は、市外の利用者から、「市内のどの辺りの方ですか」「症状がある利用者や職員はいますか」などの問い合わせがありました。利用を自粛する方には電話やメールによる支援を行いました。やはり直接関わってこそその支援なので、どうしたら良いか悩みました。
生活介護	感染しないようにサービスを自粛したい。 ご家族が働いているため利用短縮は困るが協力するしかない。 本人がスケジュールを理解できなくて困った。
生活介護	在宅支援により、生活リズムのズレ、昼夜逆転しまった。通所再開が出来るか不安。
障害者通所支援	仕事を休むことができず、子供の預け先がない。(預け先がない利用者様には、臨時休業中もお預かりを実施した。)
相談支援事業所	短期入所の利用先がコロナウイルス感染予防の為利用自粛となってしまう、受け入れ先がなく不安であるとの相談あり。実際、新規受け入れ先もコロナウイルス感染予防の為から受け入れを行っておらず、自宅にて過ごす事となってしまう。

5 コロナ対策のために他機関と連携したことはありますか？
どことどのような連携をしましたか？

事業所種別	記 載 内 容
居宅介護支援	訪問をせず、利用している事業所に状況確認等で連携を図った
居宅介護支援	Kデイケアの利用者の方が4月から時短営業となり、家族は時短や訪問は困るとのことで、他の通所の事業所を利用してもらうようにしました。（他の機関との連携ではないかな～？）
居宅介護支援	ほかの居宅支援事業所と国等から出される通知の確認や情報共有を行った。
居宅介護支援	ズームで担当者会議、やりましようと言っても事業所のシステムがととのっていない。
居宅介護支援	入院中の面会制限がある為、MSWから情報を得た。
居宅介護支援	利用表やケアプラン等をFAXや郵送で行う 通所リハ、福祉用具事業者、訪問看護への提供票をFAXで行う
居宅介護支援	月1回ショートステイを利用している方が、同一建物のデイサービスと別のデイケアを利用している。ショートステイからコロナウイルス感染症対策として暫く別のデイケアを中止するよう要請があったため、ご家族に説明し中止して頂くことがあった。
居宅介護支援	DSとSSを利用している方。DSより発熱したとの情報をいただき、SS事業所と情報共有。家族からの希望もあり、1週間利用を休むケースがあった。
居宅介護支援	事業所とのコロナ対策についての確認 病院の連携室
訪問介護	居宅と通所カンノ行き来をしないように連携をとった。市役所に営業を継続しているのか確認を取った。
訪問介護	各居宅介護支援事業所との担当者会議（利用者宅での会議）はほとんど行わず、FAXのやりとりになりました
訪問介護	担当者会議など人が集まる事を亡くし書面にて実施した。
訪問介護	栃木県の訪問介護事業所向けのユーチューブで、コロナ渦での支援の仕方を観ました。 他県のHPの訪問介護職員の注意をプリントしてヘルパーさんへ渡しました。
訪問介護	居宅介護支援事業所 県北健康福祉センター
訪問介護	ケアマネさんとのやりとりはお会いせず電話やFAXにて内容報告、連絡しました。
訪問看護	ケアマネジャー、福祉タクシー、ヘルパー
訪問看護	職員がコロナ発症した際には連携先の訪看へ利用者を看て頂けるようにした。
地域密着型通所介護	デイを2か所利用している方で、他デイにて発熱した方がいるが、連携をとり1週間自宅で様子観察をしてもらい、利用再開とした。
通所介護	ケアマネジャーを通し、他事業所もご利用されているかたへ、一ヶ所に利用をまとめていただく（可能な限り同事業所のデイサービス、ショートステイを利用しただく
通所介護	他事業所ケアマネ利用者様の利用変更など
通所介護	ケアマネと飛沫予防対策方法について他事業所での対策方法などの情報交換を行った。
通所リハビリ	母体の病院と予防策や現状の方針について対策会議にて情報共有する。各居宅・包括へ当施設の縮小営業、緩和営業、通常営業についての連絡をFAXにて行う。
通所リハビリ	関連施設との連携。
短期入所生活介護	居宅介護支援事業所へ施設の方針 通知と協力依頼
短期入所生活介護	常に嘱託医と相談、指示を仰いだ。

5 コロナ対策のために他機関と連携したことはありますか？
 どことどのような連携をしましたか？

短期入所生活介護	提供票実績は家族で対応させていただいている。また、ご面会も出来ないため、ご利用者様の状態を報告を入れている（各事業所） 定期通院がある方には、医療機関と連携し、日曜日など比較的人が少ない時に通院している。
短期入所生活介護	医療機関 次回通院期間を延ばしてもらう。また処方のみにもしてもらい受診しなかった
短期入所生活介護	熱が出たとき、発熱外来。
短期入所生活介護	複数事業所を利用している利用者様の体調について、CMや他事業所と情報共有を図った。
短期入所生活介護	協力病院へ通院する際、一般の外来の患者と施設利用者が受診する際の入口を分けて対応した。
短期入所療養介護	渡部医院
小規模多機能型居宅介護	医療関係者からの情報収集、情報交換
小規模多機能型居宅介護	同法人施設と密に連携をとりました
特定施設入居者生活介護	医療機関 次回通院期間を延ばしてもらう。また処方のみにもしてもらい受診しなかった
特定施設入居者生活介護	近隣施設との情報交換
特定施設入居者生活介護	市役所からの情報収集・系列事業所とのコロナ対策の共有
特定施設入居者生活介護	発熱者が出た際、かかりつけ医に連絡し指示を仰いだ。別の医療機関の発熱者外来を紹介頂きPCRの検査を受けさせて頂いた。 コロナが落ち着き始めた際に、発熱者がいた。かかりつけ医に相談したところ電話で状態を伝え、持病によるものだろうとの事で受診させて頂いた。
特定施設入居者生活介護	市役所、介護保険の更新の時の調査を居室ではなく事務所で実施した。
特定施設入居者生活介護	県、市への対応方法の確認・備品の調達
認知症対応型共同生活介護	協力病院から新型コロナウイルス感染症対策についての指導を受けた。 入居者様の通院時に、一般の患者さんとの接触を避ける形での受診対応をしてくれた。
認知症対応型共同生活介護	市役所や地域包括支援センターと運営推進会議開催の有無など
認知症対応型共同生活介護	市役所 推進会議の中止等の連携
認知症対応型共同生活介護	全センターで情報の共有を図りました。本社でコロナ専用部署を設けた。
認知症対応型共同生活介護	運営推進会議を施設で開くことができないため、市や包括支援センターに相談して書面開催で行いました。
認知症対応型共同生活介護	訪問診療のDrから不要な外出やユニット間の往来も最小限にしたほうが良いとアドバイスをいただいた。
認知症対応型共同生活介護	訪問診療の医師との連携 本人は受診せず家族と同行し、医師に状況報告をして薬を処方してもらっている。
地域密着型介護老人福祉施設	嘱託医に対応の仕方等指示をもらう

5 コロナ対策のために他機関と連携したことはありますか？
どことどのような連携をしましたか？

地域密着型介護老人福祉施設	パン、ヤクルト等訪問販売については入居者様の直接購入をやめ、玄関で職員購入とした。
地域密着型介護老人福祉施設	施設への出入りの制限の協力・面会制限の協力
介護老人福祉施設	関連施設との情報共有
介護老人福祉施設	協力病院へ通院する際、一般の外来の患者と施設利用者が受診する際の入口を分けて対応した。
介護老人保健施設	入所希望者の直近2w位の有熱の状況を確認させていただいた。(HP, 在宅、他施設いろいろ)
福祉用具貸与・販売	居宅や包括に電話にて訪問可能かを確認後訪問するようにした。
地域活動支援センター	施設外就労の一時停止 施設外での販売の中止(パン販売)
就労継続支援B型	栃木県障害福祉課、那須塩原市社会福祉課…コロナ感染予防のため本人希望による在宅利用に際し、電話で連携した。
児童発達支援	連携と言えるかわかりませんが、同業者や市担当窓口とは電話相談を常にしていました。また、国からのコロナに関する文書に基づいて対応していきました。補助金関係では、全国児童発達支援協議会とも話をしました。
放課後等デイサービス	市役所と情報共有(利用者や保護者の様子、施設の状況など) 連携というより、こちらからの問い合わせでした
短期入所	無償でお弁当を届けていただいた。後日食材になる自家製野菜をお届けした
生活介護	◇相談支援専門員・行政機関 平常時とは違うスケジュールによるサービス提供を行うことについて報告
生活介護	社協主催で清掃業者のプロの方から除菌・清掃の講習を受けた
相談支援事業所	短期入所の新規受け入れの確認や、現在併用で施設利用されている利用者様の通う事業所で利用可能か？の確認等

6 振り返ってみて、連携出来たらよかったと思う機関はありますか？

事業所種別	記 載 内 容
居宅介護支援	保健センター 医療機関
居宅介護支援	病院（利用者の入院先）
居宅介護支援	通所リハ
居宅介護支援	サービス事業所が感染症対策で苦労されていることは明確だったので、できることがあれば協力したいとは思っていた。
居宅介護支援	他の居宅介護支援事業所ではどんな対応・対策をしているか、手探り状態で分らなかったもので、情報交換できればよかった。 受診を心配されている方がいたので、病院とも連携できればよかったと思う。
居宅介護支援	他事業所の対策について情報交換
居宅介護支援	病院の連携室（面会ができない為） 施設の相談員（面会ができない為）
訪問介護	地域包括支援センター
訪問介護	病院等と連携し、どのくらいの人、症状の方がいるのか、回復して退院しているのかの状況が知りたい。
訪問介護	ヘルパーさんも利用者も事業所も不安だったので注意項目を示すことで支援しやすくなりました。
訪問介護	病院
訪問介護	医療機関、訪問看護等
訪問介護	コロナだけでなく、他のことでも他事業所と意見交換などが出来る場があればありがたい。同業者とかかわることはあまりないので。
訪問介護	感染症専門医か看護師による講習（オンライン） 保健所
訪問看護	居宅介護支援事業所、訪問介護、訪問リハビリテーションデイサービス等
総合事業通所型	他の事業所様がどのように運営しているか。
地域密着型通所介護	市役所：市内で感染者が出た際、感染者についての噂などが独り歩きし、家族や利用者、スタッフも不安な気持ちになる。個人情報兼ね合いで詳細は公表できないだろうが不安を和らげる方法が何かあるのではないかと考える
地域密着型通所介護	各通所介護事業所との連携。（対応方法等）
地域密着型通所介護	利用者の状態を確認してもらえる医療機関、あるいは看護機関
地域密着型通所介護	同系列のかつらクリニック 渡部医院
通所介護	各事業所の対応や発熱の状況共有
通所介護	利用時、発熱した場合、家族に迎えにきてもらうが(それでよいのかと思い)このような時の送迎をしてもらえる機関
通所介護	具体的には出てこないが、こういった異常事態の場合の自治体、行政の介護現場の実態把握の能力、スピードは検討が必要なのではないだろうか。
通所介護	対策など他施設でどのようにしているのか良い案があれば連携したい。また、感染時の対処方法等。
通所介護	利用時、発熱した場合、家族に迎えにきてもらうが(それでよいのかと思い)このような時の送迎をしてもらえる機関
通所介護	病院、同業介護、他事業所との情報の共有ができたら、良いし重要なことと思います。
通所介護	緊急事態発令時、利用者の受け入れなど、どのように対処しているかなど他事業所との連携があったらよかった。

6 振り返ってみて、連携出来たらよかったと思う機関はありますか？

通所介護	保健所 行政
認知症対応型通所介護	ケアマネ、ヘルパー、訪問看護
通所リハビリ	市町行政の方針があったら知りたかった。他の通所系サービスの対応方法。
通所リハビリ	市町村
短期入所生活介護	介護タクシー
短期入所生活介護	利用時、発熱した場合、家族に迎えにきてもらうが(それでよいのかと思い)このような時の送迎をしてもらえる機関
短期入所生活介護	保健センター、県北健康福祉センター
短期入所生活介護	他SS事業所と受け入れ等の対応の連携。
短期入所生活介護	居宅介護支援事業所 他のサービス事業所
小規模多機能型居宅介護	医療機関 県北健康福祉センター
小規模多機能型居宅介護	病院、行政
小規模多機能型居宅介護	医療機関
特定施設入居者生活介護	利用時、発熱した場合、家族に迎えにきてもらうが(それでよいのかと思い)このような時の送迎をしてもらえる機関
特定施設入居者生活介護	持病による発熱の可能性があるので、「37.0℃以上は発熱者外来へ」という一律の案内を頂いた。熱がある状態で、専門医の受診まで時間がかかってしまった事があり、利用者の身体に負担がかかった。コロナ禍では仕方がない事なのか、と思う面もあるが…
認知症対応型共同生活介護	理美容店 協力病院以外の医療機関
認知症対応型共同生活介護	医療機関
地域密着型介護老人福祉施設	他特養との対応の仕方等を連携できれば。
介護老人福祉施設	県内の介護施設との情報共有
介護老人福祉施設	特になし
介護老人福祉施設	高齢分野に限らず各施設の取り組みを知りたい
介護老人福祉施設	行政または県老協協：他施設はどのような対応をしているのか、事業所訪問の可否など共有できたらよかったと思う
児童発達支援	教育委員会
生活介護	特に今のところ思い当たらない
相談支援事業所	特に無し

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

事業所種別	記 載 内 容
居宅介護支援	<p><大変だったこと> 医療機関が面会禁止になってしまい、入退院時の本人の状況確認が困難になってしまった。退院前に本人と面会出来ず、状況等が間接的にしか把握できない。</p> <p><困ったこと> 訪問のリスク 行く方の抵抗感</p>
居宅介護支援	<p>大変だったこと ・分散勤務を実施したため、出勤日数が減ったため、居宅訪問サービス訪問調整が大変だった</p> <p>困ったこと ・サービス担当者会議が実施できない（集まらない）居宅訪問時の時間が短期間にしたため、よく話ができなかった。</p>
居宅介護支援	<p><大変だったこと> 訪問にとっても気をつかいます。これから地域にコロナの感染拡大が進んでいったら、サービス中止になる所も出てくるのが予想され、そうなった時、どのように在宅での生活をささえていけばよいのだろうと不安になります。</p> <p><困ったこと> 入院中の利用者さんと面会が出来ず、様子をきくのみで、退院時のサービス調整をしなければならない。</p>
居宅介護支援	<p>困ったこと ・いまだ自宅訪問ができず、会えない方の状況がはっきりしないこと。</p>
居宅介護支援	<p>利用者、家族から先の見えない不安を相談された。 訪問を嫌がられるように感じるがあった。（訪問した際、険しい表情をされた。玄関扉を10cm位開けてやり取りした）</p>
居宅介護支援	<p><大変だったこと> ・新しい生活様式の定着</p> <p><困ったこと> ・予防対策の維持</p>
居宅介護支援	<p>大変だったこと ・予約取っていたショートステイが利用できなくなってしまったためサービス調整に苦労した。</p>
居宅介護支援	<p>他県に住む家族が公共機関にて来訪(千葉県)。独居のお年寄りを2日/月来て介護をしている。止めてほしいと言えず困った。 入院中の面会ができなかった。 本人の状態の把握ができなかった。</p>
居宅介護支援	<p>職場のマスクを使うことが出来なかったため、自分で用意することが大変だった。</p>
居宅介護支援	<p>マスク、トイレットペーパー、消毒液がどこにも売ってなかった。</p>
居宅介護支援	<p>利用者の発熱時に通院介助等のサービスを行う事業所がほぼ無くなってしまった。</p>
居宅介護支援	<p>発熱者のサービス利用の調整（事業所で受け入れ態勢の違いがある）</p>
居宅介護支援	<p>入院している人に面会制限があり退院時の支援が見えない。</p>
居宅介護支援	<p>難聴の方への意向確認が近づいて大きな声で話すことができなかったので家族の意向しか聞き取れなかった</p>
居宅介護支援	<p>利用者やサービス担当者とのコミュニケーション。直接会って話をするのを避ける雰囲気があった。電話はすれ違いがあり、FAXではニュアンスが伝わり難い等の不便さを感じた。又、行政やサービス事業所との連絡手段として紙(印刷物)の量が増えた。</p>

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

居宅介護支援	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問し、モニタリングができない方が数名いるので、実際の生活の様子が把握できないこと。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ面会禁止の施設があるので、いつ利用者にとってモニタリングできるのかわからない状況。 ・利用を予定していた利用者があるが、DSから利用を控えるように言われて利用開始のタイミングを逃してしまい、サービスにつながらなくなってしまった。
居宅介護支援	<p>訪問時、あまり気にしない利用者・家族への対応 万が一、媒介になってしまう不安</p>
居宅介護支援	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時的な制度変更の解釈について。自分なりの活動自粛し、3密の場所へは行かない等をしていたが、訪問時等「もしかして」「万が一」を常に考えて行動すること。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院やショート利用等、面会禁止となり、調査が困った。本人の実態把握ができない。退院調整時本人の実態把握ができなかった。
居宅介護支援	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクの調達 ・担会ができない ・入院者の面会等の確認を、連携室を通しその都度確認することが大変だった。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクの着用での会話に慣れず、息苦しさや暑苦しさ。（難聴の利用者が多いため、大声で話さないと聞こえない為）
居宅介護支援	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何より職員からご利用者様へ感染させることが心配だった。職員のプライベートまで立ち入らなくてはならぬ大変だった。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助時に職員が使用するプラスチック手袋（グローブ）が中々手に入らず困りました。結局、高い物を購入するしかなかった。
訪問介護	<p>那須塩原市内に感染者が出た時、利用者もヘルパーも感染リスクを考えた時不安だった</p>
訪問介護	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク、消毒液などの物品が品薄で手に入りずらかった事。
訪問介護	<p><大変だったこと></p> <p>訪問し、いきなりキャンセルされたヘルパーがいました</p> <p><困ったこと></p> <p>今後の予定が立てにくいこと。</p>
訪問介護	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透析時間が早まり送迎時間もそれに伴い変更になった。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に不安が多くなった事。
訪問介護	<p>マスクや手指消毒液が足りなかった。 体温計やその電池が買えなかった。 利用者の体調や体温を確認してから支援に入る。</p>
訪問介護	<p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・肺炎で亡くなられた方の情報が的確に支援事業所に伝わらず、病院に確認しても「わかりません」の返答しかなく、事業所としてどう対応してよいのか確認をとることが大変でした。 ・使い捨て手袋。防護服の調達
訪問介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク、消毒液の確保

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

訪問介護	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク、ティスポ、消毒液が不足の時の購入。事業所のスタッフ、利用者になってしまった場合の対応が不安。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の休校のためヘルパーが休みになり、人手不足になる。
訪問介護	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員はもちろんの事その家族も神経質になりすぎてしまい精神的に参っている。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクや消毒液不足、家族やご利用者がコロナに対して危機感がない方がおられること。
訪問介護	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3密を避けるため、職員間での会議を自粛。書面やラインなどでの連絡になり連携を取るのが大変 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク、消毒液不足。手袋は現在も不足している。
訪問介護	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何より職員からご利用者様へ感染させることが心配だった。職員のプライベートまで立ち入らなくてはならぬ大変だった。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助時に職員が使用するプラスチック手袋（グローブ）が中々手に入らず困りました。結局、高い物を購入するしかなかった。
訪問介護	<p>マスク着用で入浴介助を行い熱中症のような症状になった。フェイスシールドの購入を管理者に相談したが、応答なく、自分で購入した。</p>
訪問介護	<p>マスク着用により入浴介助中、酸欠になる。</p>
訪問介護	<p>暑いときは全身防護するのはきつかったです。マスク着用、フェイスシールドは曇って仕事しづらかったので、花粉症の方が使用するメガネを着用したり・・・と支援によって変えたり、工夫したりしました。</p>
訪問介護	<p>感染拡大防止の為、支援、緊急時以外訪問を控えなければならず、生活の変化が見えない利用者様が発生した事。 ウイルスは目に見えないので、「職員が保菌しているかも」と利用者さんにおもわれる事があり、不安な支援になってしまった。（100%保菌していないと言えない）</p>
訪問看護	<p>困ったこと：PCR検査をしてもらえない、コールセンタにつながらない</p>
訪問看護	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検温、手洗い手順、感染症疑いのある利用者への対応方法等や緊急事態宣言やスタッフ家族に感染者が出た場合の対応についての協議が不十分であった。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他事業者の対応方法がみえなかったことで利用者への説明があいまいになったこと。
訪問看護	<p>最悪の状態を考えて、職員や利用者が発生し業務停止になった場合、どう対応するべきか。特に訪問看護が必須の利用者に対して、どうサービスを継続できるか、悩ましい。</p>
訪問リハビリ	<p><大変だったこと> 利用者家族の他者との接触（感染リスク）について確認管理が難しい 自身の管理、自分が感染源にならない（広めない）配慮</p> <p><困ったこと> 施設Drの往診ができない（訪RH上の）。そのため、主治医からの情報から施設Drの指示をもらうしかなかった。 職員が訪問することに対するリスクについて十分理解してくれているか、また、コロナについての認識がどの位あるのか不明だった。</p>
訪問リハビリ	<p>利用者の希望でしばらく休みになったが、その影響で身体機能が少し低下してしまう方がいた。・職員も少しの体調変化があれば、出勤を控えていたため、その際の利用者の代行や振り替えの調整が大変。</p>

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

総合事業通所型	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の短縮、人の制限を行なったことにより以前よりもスタッフのやるが増えたこと。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同上、またいつコロナ禍が終わるのかストレスがたまってしまった事。
地域密着型通所介護	<p>認知症の方にうがいの方法を伝える難しさを感じた。また、他の利用者とのソーシャルディスタンスを取るのも常に見守りをしていなければならないので大変。この先の見通しが見つからないということ</p>
地域密着型通所介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方への説明やマスク着用在が困難。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクを外してしまい、他利用者と喧嘩になってしまった。 ・マスクをしながらの入浴介助。 ・家族にすぐ連絡がつかないときがあった。
地域密着型通所介護	<p><大変だったこと></p> <p>現在も送迎時検温を継続しているが、お迎えに行く時間が遅くなってしまう場合がある。</p>
地域密着型通所介護	<p><大変だったこと></p> <p>通常より体温が高く、コロナの基準地近くの方の対応。施設が小さいので隔離出来ない等</p> <p><困ったこと></p> <p>マスク、エタノール消毒液の不足。特に消毒液は足りなく、確保に困った。</p>
地域密着型通所介護	<p><大変だったこと></p> <p>眼に見えない敵の為、ご利用者様職員の感染予防に努めること 我々にできる対策は限られているが、その限られた対策を最大限に生かすこと</p> <p><困ったこと></p> <p>やがては終息時期が来ると思われるが、先ず現段階で終わりが見えないこと、そして、ある程度は利用についてのマニュアルは作成できたが、利用可否の境界に困った。</p>
地域密着型通所介護	<p>感染予防のため利用を休まれた方がいた。長い方は一か月以上休まれた。マスクの着用を嫌がる方に協力していただく事。 介助時は距離を保てない事。</p>
地域密着型通所介護	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の間の距離があるためお話しができず。職員もあまり近寄れないため苦勞した。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクにしてもカラオケにしてもコロナ感染をまず考えてしまうため中々行動が制限されてしまい困った。 ・マスクをしていただけない利用者を説得してもしていただけないのに困りました。
通所介護	<p>特になし</p>
通所介護	<p>送迎時の密をつくらないこと。</p>
通所介護	<p>送迎車内、ホール内の消毒を行うための消毒液・手袋が十分に確保出来なかった。 マスク不足</p>
通所介護	<p>認知症の方のマスク着用の継続が困難だった</p>

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

通所介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> こまめな消毒の実施にて、消毒液が無くなり普段とは別のものを使用した為、合わない利用者があり手に小さな水泡ができてしまった。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の減少。 行事ができない。
通所介護	<p><大変だったこと></p> <p>ご利用様の検温、体調の変化等今まで以上に気を配った こまめな消毒、清掃</p> <p><困ったこと></p> <p>対策をしていても本当にこれで大丈夫なのかという不安が常にあった。</p>
通所介護	<p>物品の購入、マスクがない事 アルコールの高騰、ペーパータオルの入手困難 手袋の購入規制 物品が底を付くまではいかなかったが、アルコールの高騰は会社に負担になった。</p>
通所介護	<p>消耗品(トイレトペーパー、デスポグローブetc)や衛生材料(アルコール)などが手に入らなかったこと。 もし感染者が出て休業などが長びいた場合の倒産の恐怖、デマの恐怖</p>
通所介護	<p>消毒の購入ができずにいた 職員が感染した際運営をどうするか。子供がいるスタッフが自粛中のため勤務に縛りがある。運営側の人材確保が困った</p>
通所介護	<p>物品の購入、マスクがない事 アルコールの高騰、ペーパータオルの入手困難 手袋の購入規制 物品が底を付くまではいかなかったが、アルコールの高騰は会社に負担になった。</p>
通所介護	<p><困ったこと></p> <p>イベントやボランティアとの行事が中止になってしまった事。 消毒検温用電池の品うす</p>
通所介護	<p>手指消毒やマスクが手に入らない事</p>
通所介護	<p>消毒の入荷の目処が立たず手指消毒に関しては在庫切れになりそうで困った。</p>
通所介護	<p>日常品の品不足 (マスク、トイレトペーパーなど)</p>
通所介護	<p>体温37.5度以上は出勤ができない PCR検査が受けられない</p>
通所介護	<p>衛生面での注意、対応 利用者、家族、職員の中に感染者がいないかという不安 アルコール消毒、手袋が入手できなくなるのではという不安</p>
通所介護	<p>マスク、アルコール消毒薬、手袋の在庫確保が困難になったこと 利用者に関われる時間と人員を設備の消毒にまわさなければならなくなったこと</p>
通所介護	<p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> 3密の回避や、消毒・換気を実施しても利用者に理解してもらえずトラブルになった。
認知症対応型通所介護	<p>常に感染との恐怖、不安がある。 また、今まで普通にできていたことが、職員のストレスとなっている。(例えば、実家へ行く、東京へ行く、ライブ、野球観戦、旅行、飲み会など)</p>

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

通所リハビリ	<p><大変だったこと> カラオケ・ゲームを行うことができず、利用者様が楽しむ機会が減ってしまった。その時間に何を行ってもらったら良いのか。 利用者、家族への通知・対応。今後の運営の方法など</p> <p><困ったこと> 自宅で入浴ができない利用者が休まれた場合、訪問入浴など検討していた。その場合の対策・対応などヘルパーに相談していた（実際に行くことはなかった。）</p>
通所リハビリ	<p>大変だったこと ・縮小営業に関する利用者・居宅・包括への連絡。縮小営業中のスケジュール送迎管理、スタッフ業務の変更など。</p> <p>困ったこと ・マスク、アルコール消毒液、ウェットティッシュの不足。利用者の減少。</p>
通所リハビリ	職員数の確保
短期入所生活介護	ショートステイ利用者の受け入れを制限したこと。
短期入所生活介護	<p>蜜が避けられない 利用者がマスクを外してしまう、徘徊してしまう マスク、防護服、アルコール不足 外出レクが行えない。行える施設内レクが限られてしまい楽しみの提供が減ってしまった。</p>
短期入所生活介護	<p>他県に住む家族との連携(特に東京、埼玉) ご利用者が外出する機会が無くなってしまい、気分転換やストレスの発散ができなくなってしまった。 ご家族と面会させてあげたいのにできない事のつらさを感じた。又、看取りの場面でもどこまで対応すべきなのか、しなくてははいけないのか判断が難しかった。 外部のリハビリをことわらざるを得なくなり、筋力、体力、精神の低下が心配だった。</p>
短期入所生活介護	<p><大変だったこと> マスク消毒液の確保 健康管理・移動外出制限 通院</p> <p><困ったこと> ご利用者様会話の際、耳がとおく、マスクや接近して会話をされるので、なかなか密を避けられない。</p>
短期入所生活介護	<p>物品の購入、マスクがない事 アルコールの高騰、ペーパータオルの入手困難 手袋の購入規制 物品が底を付くまではいかなかったが、アルコールの高騰は会社に負担になった。</p>
短期入所生活介護	日々、情報が更新されるので追うのが大変。気持ちが滅入る。
短期入所生活介護	<p><大変だったこと> ・SS利用中の発熱時の判断。</p> <p><困ったこと> ・医療機関への受診の判断（定期受診） ・緊急時に関してはその限りではない</p>
短期入所生活介護	<p>困ったこと ・現在も第2波で心配です。ご家族が都内在住の方、ショートステイ利用中に東京に行く方など制限が難しい。</p>

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

短期入所生活介護	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規にう手入れの際は本人の状態だけでなく家族等の感染リスクにも注意しなければならない為いつも以上に気がついた。 ・リモート面会を実施する為に新たに物品を購入したり操作を覚える必要があった。
短期入所生活介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ時の体調確認。
短期入所療養介護	<p><大変だったこと></p> <p><困ったこと></p> <p>入所に際して、医療機関への実態調査ができなかった。 面会制限や謝絶を行ったが、面会は当然の権利であり、どれほどの強度でお願いするか、お願いするにしても、面会制限を行うにあたっての根拠はなんなのか、正解が見えなかった。</p>
小規模多機能型居宅介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・車を使用するたびに消毒しなければならず大変。 ・外出やボランティアの受け入れができず、利用者の楽しみが減った。 ・気温の上昇もあり、マスク着用での業務はつらい。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒用エタノールの入手が困難。 ・常にマスクの着用の為、こちらの表情や声が伝わりにくい。
小規模多機能型居宅介護	<p><大変だったこと></p> <p>日々、緊張がはりつめていました。感染、発症すると、重症化しやすい高齢の方なので、予防と、万が一に備えての対応については、細かな配慮を続けています。</p> <p><困ったこと></p> <p>利用者様が発熱しても、どこの医療機関も受け入れてくれず、受診できなかった。体温計やマスク、ティッシュ等の備品、衛生用品、日用品が購入できず不足した。</p>
小規模多機能型居宅介護	消毒、ハンドソープ、使い捨て手袋、マスクなど感染防止に必要不可欠なものがしばらくの間入手できなかったこと。
小規模多機能型居宅介護	発熱した利用者が受診を断られ困った 感染予防の物品が手に入らない。
小規模多機能型居宅介護	発熱のある方、風邪症状の方に対する支援が難しい 衛生用品の不足、非接触体温計の購入ができない
小規模多機能型居宅介護	情報が少なかったこと。黒磯地区、県北地区どの辺りで…
小規模多機能型居宅介護	マスク、消毒薬の確保
小規模多機能型居宅介護	マスク、消毒液の確保 利用者様が発熱してもなかなか受診出来なかった事。
小規模多機能型居宅介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者の出入り前の検温等 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出はとりあえず認めてはいるが…今後行先に流行地域を指定されてしまった場合、なるべく行ってほしくはないが事業所として強制力が無いところ。
小規模多機能型居宅介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、ご家族、職員の不安感への対応。 ・予防（手洗い、うがい、マスク着用、検温等）の周知徹底を事業所だけではなく、ご家族や外部の方にもお願いする必要のあったこと。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症利用者様へのマスク着用のお願い。

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

小規模多機能型 居宅介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験したことが無い事態への対応の不安。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防に必要な物品不足。（購入不可）
特定施設入居者 生活介護	<p>物品の購入、マスクがない事 アルコールの高騰、ペーパータオルの入手困難 手袋の購入規制 物品が底を付くまではいかなかったが、アルコールの高騰は会社に負担になった。</p>
特定施設入居者 生活介護	<p>マスク、消毒液の入手</p>
特定施設入居者 生活介護	<p>若干、マスクやアルコール消毒液が在庫薄になった 発生当時、利用者が安全のために外部のデイの利用自粛をしたこと</p>
特定施設入居者 生活介護	<p>職員の微熱により、出勤を控えて頂くしかない状況。 マスクや、消毒液、グローブなどの消耗品の確保 利用者の外出制限によるストレスの増幅 問「6」の状況。</p>
特定施設入居者 生活介護	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院された方が居て洗濯が施設対応だったのが病棟に入れず面会も出来なかったのが渡すのも大変。状況の確認もできにくかった。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期化に伴い、利用者様のストレスがたまりにたまって、コロナと言っても理解できる人が少なく、防波堤になるのが毎日大変だった。一部のご家族のが危機感が薄く外食をしようとしたりと毎日が大変だった。
認知症対応型共 同生活介護	<p>自分が感染しないか、そして利用者につつしたら大変だという不安はいつもあります。</p>
認知症対応型共 同生活介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温の上昇もあり、マスク着用での業務はつらい。 ・外出やボランティアの受け入れができず、利用者の楽しみが減った。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒用エタノールの入手が困難。 ・常にマスク着用の為、こちらの表情や声が伝わりにくい。
認知症対応型共 同生活介護	<p>ご家族の面会制限 協力病院以外の他科受診 入居者様自身の冠婚葬祭への自粛 入居者様のストレス</p>
認知症対応型共 同生活介護	<p><大変だったこと></p> <p>勤務中のマスク着用（夏場は暑くて苦しい） 入居者のうがい手洗いの頻回な対応</p> <p><困ったこと></p> <p>外出自粛による、入居者のストレス増悪（BPSDの出現）</p>
認知症対応型共 同生活介護	<p>利用者の体調管理 施設内での感染予防対策 マスク消毒類の不足</p>
認知症対応型共 同生活介護	<p>マスクや消毒液の確保 新規利用者様との面談（入院中の方）が出来ずにすぐに支援にあたらなければならなかったこと。</p>
認知症対応型共 同生活介護	<p>ご家族様との面会が出来ないこと。 いつ終息するのかわからないこと。</p>

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

認知症対応型共同生活介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が感染源にならないように、自分たちだけではなくその家族にも協力をお願いしていて、今後もしばらく続きそうなこと。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・消毒用アルコールなど、手に入らない品があった事。 ・しばらく外出が難しいこと。
認知症対応型共同生活介護	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験した事が無い事態への対応の不安。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防に必要な物品の不足。（購入不可）
認知症対応型共同生活介護	感染予防のための物品不足
認知症対応型共同生活介護	<p>利用者の介護にあたり他者との接触を控えていたが、家族との接触にも注意して大変だった。</p> <p>スタッフは自分が感染してしまったらどうしようと不安だった。</p>
認知症対応型共同生活介護	衛生用品の確保
認知症対応型共同生活介護	<p>マスクが足りなかった。消毒液や手袋もいつになつたらなくなるか、とても不安であった。</p> <p>知らないところで職員が感染してしまったらという不安。</p>
地域密着型介護老人福祉施設	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が他県へ外出した際、帰宅後数日間出勤を見合わせた為、勤務変更を行った。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関への受診の判断（定期受診）
地域密着型介護老人福祉施設	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク、消毒液等の物品確保 ・入居調整（コロナの影響で、入居の順番がきても待機場所から移動させたくない、という意向の方がいた） <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接面会を行いたい。という家族への説明と対応
地域密着型介護老人福祉施設	感染予防用品の不足、購入料金の上昇
地域密着型介護老人福祉施設	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診の回数を最低限にしたため、体調管理に気を使った。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出できずにストレスが溜まっている。 ・家族と直接面会できず不安になっている。
介護老人福祉施設	具体的な対応マニュアルがなかった・マスク等の物品の確保
介護老人福祉施設	<p>定期的な利用をする利用者様を受け入れできなくなって困った。</p> <p>自分たちがうつらないよううつさないよう日頃から予防に気を遣い、メンタル的にきつかった。</p>
介護老人福祉施設	物品不足
介護老人福祉施設	<p>職員、入居者、利用者のメンタル面</p> <p>収入減、支出増</p> <p>発熱者がコロナ疑いで日赤に回されてしまった（その後1.5カ月入院）</p> <p>物資の不足と価格の高騰</p> <p>職員の休業（発熱者）</p>

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

介護老人福祉施設	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診の回数を最低限にしたため、体調管理に気を使った。 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出できずにストレスが溜まっている。 ・家族と直接面会できず不安になっている。
介護老人福祉施設	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規にう手入れの際は本人の状態だけでなく家族等の感染リスクにも注意しなければならない為いつも以上に気がついた。 ・リモート面会を実施する為に新たに物品を購入したり操作を覚える必要があった。
介護老人保健施設	<p>面会できないことにより、認知症の方は家族の顔を忘れてしまう可能性。 年間の行事がほぼ変更又は中止になっていくこと。 3密を避けた工夫や対応が常に必要な状況が長く続くこと。</p>
介護老人保健施設	<p><大変だったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族の対応 ・備品管理 <p><困ったこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスに対しての感染リスクの理解 ・マスク、消毒液の不足・購入
福祉用具貸与・販売	<p>ない</p>
福祉用具貸与・販売	<p>大変だったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防対策の実施や準備。スタッフから一人でもでてしまうと閉鎖になってしまうのではと思い、不安でした。 <p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時的な物品不足（マスク等）
福祉用具貸与・販売	<p>困ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問行えなかったため、モニタリングが電話での確認しかできなかった計画書も後日に印鑑をいただくようになったこと。
福祉用具貸与・販売	<p>マスク不足 消毒液及び容器の不足 サービス担当者会議の中止及び人数制限</p>
福祉用具貸与・販売	<p>新規参入事業所なのだが、営業、カタログ、パンフレットの訪問が出来なかった。</p>
地域活動支援センター	<p>施設内及び送迎車内の密を防ぐために利用人数を調整したこと</p>
就労継続支援B型	<p>障がいを持つ利用者なので、感染しないよう職員が環境整備を行った。自分が感染しているかもしれない事を念頭に活動していましたが、長期間なので気持ちが疲れていました。</p>
就労継続支援B型	<p>作業の減少・公共交通機関利用自粛による訓練機会の減少 マスク等感染予防対策用品の調達</p>
児童発達支援	<p>業務の性質上、子どもとの身体の接触が避けられなかったため、感染リスクは大きかったと思います。また、休めない仕事のため、職員の子どもが休みになった場合の調整が大変でした</p>

7 コロナ禍で大変だったこと・困ったことは何ですか？

放課後等デイサービス	<p>学校が突然の臨時休業、分散登校、再開するかもしれない、しないかもしれない、といった急遽の対応の連続で、都度、利用予定が変更され、受入体制を組み直すのに苦悩しました。</p> <p>問題だと感じたのは庁舎内の教育部局と福祉部局との間で連携が取れておらず、結果、施設側への情報が極めて乏しく、保護者からの「うわさ話」で対応を迫られていた事です。「明日学校が休校になったみたいなので、受け入れてもらえますか」と聞かれても、我々は何も知らず、体制が整っていないのです。その一方で、一般の学童保育とは協議されているケースがありました。市のHPに「学童保育は協議の上受入可能です」と掲載されていました。同じ那須塩原市の子どもであるのに、障害を持つ子は検討すらされず、施設は見向きもされないのは何故なのでしょう。</p> <p>行政は施設に“原則開所”を求めました。仮に感染者が出ても、休止するには協議の上です。そのように位置づけられながら、日々変化する状況の中で、各機関の対応や方針に関する情報提供はほとんどありませんでした。最も疑問に感じたのは、学校休業中に長期間お預かりしていた子どもたちの様子を尋ねられることが無かったことです。施設側はいつ学校が再開しても良いように精一杯対応していきました。学校は子ども達の様子が気にならないのか。学校に訴えましたが、「保護者に確認しています」「分散出勤で家庭訪問もしていないので・・・」との回答でした。</p> <p>更に言うと、感染予防の為のマスクや消毒液等が不足して困りました。国や県は「優先的に調達します」と言いつつ、結局補給されたのは市場に商品が出回った後でした。</p> <p>未曾有の事態で仕方ない面もありますが、子どもの視点で共に考えるという大切なことが欠如していると思います。今後も不安です。</p>
短期入所	買い出しに行けない、活動内容が制限されてしまった
生活介護	感染症対策、感染者を出さないための職員の心理的負担 平常時とは違うスケジュール
生活介護	9割の利用者が在宅にて支援した。初めてのことで戸惑った。
障害者通所支援	基礎疾患を持つ利用者様が多いため、いち早く営業を自粛せざるを得なかったこと。
相談支援事業所	対面での会議ではなく電話にて会議を実施。電話での対応となり中々連絡のつかない 利用者様（保護者）がいて調整するのが難しかった

8 どんな支援があったらよかったですか??

事業所種別	記 載 内 容
居宅介護支援	もし、コロナの感染者が出たら、どのような対応をとることがベストなのか。的確なアドバイスをしてくれるようなところがあればいいと思います。
居宅介護支援	特には思いあたりません
居宅介護支援	利用者の家族びコロナ感染者（疑い含む）がいた場合、サービス提供ができないという事業所がほとんどの中、そういった方に対して受けられる支援や体制があるとよい。
居宅介護支援	マスク以外に衝立や消毒等の支給があるとよかった。
居宅介護支援	自粛中の対応はこれでよかったのか、各事業所の方はどうされていたのか、良い取り組みをされている所を学べる方法があると不安が軽減できたかもしれない。
居宅介護支援	ズームを病院も活用してほしい。
居宅介護支援	自然災害ではなくウイルスによる地域の機能不全。今回のことを教訓に非常時にも混乱しないよう対策を講じられたらよい。
居宅介護支援	他の事業所がどんな対応・対策をとっているか、手探りで分からないことが多かったので、どう対応したらいいか市役所等からアドバイス、相談できる場があったらよかった。
居宅介護支援	マスク不足の解消
居宅介護支援	リモート会話 感染者のおおよその位置情報、行動範囲がわかるシステム
居宅介護支援	グローブ、消毒、マスクが不足してしまった。短期間で簡単に申請し支援してほしいかった。
訪問介護	早めにマスク、消毒液などの支給や消毒の仕方のマニュアル等の指導があれば良かったと思います。
訪問介護	発熱者（コロナ症状疑いの方）の通院方法がなく、こちらもリスクを伴うためとても悩んだ。そんな時専用の移動方法があると助かりました。
訪問介護	もし、訪問介護事業所で感染者が出たら、直ぐに他事業所がバトンタッチできる横のつながりが欲しかったです。
訪問介護	現在。ディスポ（手袋、エプロン）の不足もみられます。マスクは安定してきたので、ディスポ（手袋、エプロン）の支給があったら助かります。
訪問介護	グローブ、消毒、マスクが不足してしまった。短期間で簡単に申請し支援してほしいかった。
訪問介護	自分の施設の職員、管理者はコロナに対してあまり危機感がない。訪問介護がどれだけ神経を使って大変か理解していない。マスクを着用しない職員もいる。そういったことを指導する機関はあるのか。
訪問介護	訪問介護に関しては、利用者様と接する距離が近い為、どのような支援の入り方がよいかはわかりません。
訪問介護	サービス種（訪問）ごとの発生後対応マニュアル 職員発生時マニュアル
訪問看護	コロナ疑いの方の受診で独居の場合誰が対応するのか感染の疑いが高い時はヘルパー、福祉タクシーは対応しかねる。又、陽性疑いだけど自宅待機の時の病院から自宅へ送迎は誰がするのか
総合事業通所型	他の事業所の動きを教えていただき良かった。
地域密着型通所介護	正しい感染予防対策について専門家に教えてほしい 市役所や社協からマスクの配布は助かっているが消毒液の援助もあると助かる
地域密着型通所介護	対面時の際に、テーブル中央に立てる飛沫防止シート等の配布があったらよかった。
地域密着型通所介護	各事業所手探りで対応していたと思います。県、または市で通所介護等の基本対策方針を打ち出してもらい、その方針で対応できればよかったと思う。

8 どんな支援があったらよかったですか??

地域密着型通所介護	とにかく、相談できる、的確なアドバイスをもらえるといった基本的なことから、不足していた。対応が判れば落ち着いた行動ができると思う。 「〇〇日間、様子を見てください」というのが一番無責任なアドバイスだと思いました。
地域密着型通所介護	予防するための物品。消毒、プラスチックグローブなど入手困難な物品供給。
通所介護	特になし
通所介護	手袋、マスク、消毒液が不足になっていたので支援してもらえたら良い。
通所介護	利用者を増やすことができればありがたい。
通所介護	ご利用者様のご家族様、事業所、働く側皆が安心して短時間休業できる支援、その手続きも簡単におこなえる施策があると良いと思う。おこなうまでに手続きに時間がかかると、おこなう側としては難しくなってしまうこともあるので
通所介護	コロナ感染者が出た場合の事業所・利用者・家族の支援 利用時発熱者が出た場合の支援、対応をどうしたらいいのか不透明で、現状保健所に相談となっているが、連絡してもらいたい回しと聞くので、コロナかどうか分からない発熱時どこに相談すればすぐ診てもらえるのかフローチャートが必要ではないか。どの機関とも素早いレスポンスが必要
通所介護	世の中自粛する中で、認知症を看ている家族は一緒にずっといるとストレスになる家族もあり。 地域で、またはデイなど働く人や管理者などの相談窓口があると助かります。
通所介護	コロナ感染者が出た場合の事業所・利用者・家族の支援 利用時発熱者が出た場合の支援、対応をどうしたらいいのか不透明で、現状保健所に相談となっているが、連絡してもらいたい回しと聞くので、コロナかどうか分からない発熱時どこに相談すればすぐ診てもらえるのかフローチャートが必要ではないか。どの機関とも素早いレスポンスが必要
通所介護	多くありすぎる
通所介護	すぐにPCR検査が受けられる支援
通所介護	行っているコロナ対策が効果があるのか正しいのか、誰に聞いたらよいか分からない。例えば、各施設を見てアドバイスを頂ける、そういう支援があると安心できる。
通所介護	感染予防の物品の支給を増やしてほしい
認知症対応型通所介護	明日から即休業しなくてはならない状況になった時の受け入れ支援が速やかに行えると、利用者様や家族が不安な気持ちにならないと思う。
通所リハビリ	今後スタッフ確保が大変になったときの介護士のサポート支援窓口や流れができるとうれしい。
通所リハビリ	もし、運営休止した際の利用者サービスのフォロー。
短期入所生活介護	本人、ご家族が安心して生活を送れる様、オンライン面会等を活用しやすい環境
短期入所生活介護	コロナの影響により、職員には微熱でも出勤を控えてもらっているため、人材不足になりやすい。ハローワークなどで介護施設で働いてみたい方や、実際にどれくらい登録されているか情報が分かると良いと思いました。
短期入所生活介護	コロナ感染者が出た場合の事業所 利用者・家族の支援 利用時発熱者が出た場合の支援、対応をどうしたらいいのか不透明で、現状保健所に相談となっているが、連絡してもらいたい回しと聞くので、コロナかどうか分からない発熱時どこに相談すればすぐ診てもらえるのかフローチャートが必要ではないか。どの機関とも素早いレスポンスが必要

8 どんな支援があったらよかったですか??

短期入所生活介護	万が一、職員がコロナウイルスに感染してしまった場合の対応や、職場に復帰するまでのフォローが市レベルで有るともっと精神的に安心できる様に思います。(実際に、職員から「コロナにかかった人が復帰しても、しばらく一緒に仕事はしたくない。(近寄りたくない)」と聞いたことがあるので。)
短期入所生活介護	SS受け入れに關しての具体的な基準。
短期入所療養介護	外部との接触が最小限になってしまう以上、外部からの支援に頼るのは難しかった。金銭的なものや物資的なものは多方面より頂いたもので、これ以上望むものはあまりない。 むしろ、施設内での利用者様に対する支援について、コロナ禍における、「根拠」を持たなければならぬと思う。根拠のない自粛・制限ほど苦しめるものはないと感じる。
小規模多機能型居宅介護	主治医に電話で症状を報告し、内服薬を頂ける支援があれば、痰がらみや咳の症状が早く治ったと思う。部屋に隔離したため、機能低下された方もいた。
小規模多機能型居宅介護	具体的にどう対応を徹底するか。運営は続けなければならないので。スタッフの不安を払拭するためにも、保健師さんなど直接質疑できると安心できる。
小規模多機能型居宅介護	医療機関で医師が訪問してくれるような支援があると心強かったです。
小規模多機能型居宅介護	無理なことでしょうが支援というよりは、〇月〇日～〇月〇日までは〇県には行かないようにしましょう、とか。本当は強制力がなければ意味がないし、そういう強制力のある対応をしなければ、今後もコロナ患者は増え続けると思っています。もう答えが出始めてはいますが。 旅行のキャンペーンもバカげていると個人的には思っています。経済の問題も分かかりますが…事と内容にもよるでしょうが、国には明確な判断・ある程度の強制力が欲しい。
特定施設入居者生活介護	コロナ感染者が出た場合の事業所・利用者・家族の支援 利用時発熱者が出た場合の支援、対応をどうしたらいいのか不透明で、現状保健所に相談となっているが、連絡してもらいたい回しと聞くので、コロナかどうかも分からない発熱時どこに相談すればすぐ診てもらえるのかフローチャートが必要ではないか。どの機関とも素早いレスポンスが必要
特定施設入居者生活介護	コロナが発生した場合の、現場の介護職員のカバーが必要になると思う
特定施設入居者生活介護	マスク、消毒液等消耗品の確保、支援 同一エリア内での、コロナ対策の情報共有 訪問診療のような、出張型の医療提供。 オンライン診療 コロナ感染者の行動把握システム
特定施設入居者生活介護	消毒液の在庫が少なくなりどこも売り切れで横の連携で法人だけではなく、近隣の施設との連携がほしかった。物だけではなく、どんな対応を取っているか?というような事で。
特定施設入居者生活介護	備品の調達が難しい。・感染者が出た時の対応。
認知症対応型共同生活介護	介護サービス事業者における新型コロナウイルス対策に要する経費について、逸早い助成制度の方策があってもよかったですのではないかと思います。
認知症対応型共同生活介護	遠隔でのボランティア支援など。
認知症対応型共同生活介護	タブレットを使用したオンラインでの面会が出来たらよかったです。
地域密着型介護老人福祉施設	同じ特養間での情報共有。 グローブやマスク等衛生用具の在庫を把握し、足りないところへ貸与する等の支援。

8 どんな支援があったらよかったですか??

地域密着型介護 老人福祉施設	感染予防用品の価格安定、購入等の支援
地域密着型介護 老人福祉施設	消毒やガウン、マスクを優先的に支援していただけると助かる。
介護老人福祉施設	介護施設でコロナが発生した場合の対応相談窓口
介護老人福祉施設	必需品の早急な支援(マスク・ガウン・アルコール消毒)
介護老人福祉施設	予防の段階では特段必要なものはないが、いざ発生した時を想定すると人員、物資が不足することは間違いない。その際に人員、物資を支援できる体制やスキームの構築が必要と思う。
介護老人福祉施設	消毒やガウン、マスクを優先的に支援していただけると助かる。
介護老人保健施設	オンライン、タブレットなどの準備支援 サーモスターの貸し出し 市、病院、施設での共通ガイドラインの設定 ※全て行政に対して
福祉用具貸与・ 販売	入手困難時のマスクの支給、入手困難時の消毒液の支給
福祉用具貸与・ 販売	市からのマスク支援は本当に助かりました。

その他の記載事項

事業所種別	記 載 内 容
通所介護	6月1日より7月末日迄休止中だったので記入することはありません。
通所介護	<p>コロナに感染した人、家族が村八分にならないように、情報公開は必要だが、SNSなどで誹謗中傷にならないように対策してほしい、コロナが出た施設等も同様である。</p> <p>また、子供達が感染した場合も同様にいじめにならないように、素早いレスポンスと対応策を構築してほしい。</p>
通所介護	<p>コロナに感染した人、家族が村八分にならないように、情報公開は必要だが、SNSなどで誹謗中傷にならないように対策してほしい、コロナが出た施設等も同様である。</p> <p>また、子供達が感染した場合も同様にいじめにならないように、素早いレスポンスと対応策を構築してほしい。</p>
通所リハビリ	<p>県や市からのマスク支給はありがたかった。「2区分上位」の請求できているのはありがたいが、利用者に負担させるのは納得されたい利用者がいる。要支援の方はなぜ増えないのかという不満もある。どうか利用者負担なく保障支援があるとありがたい。</p>
短期入所生活介護	<p>コロナに感染した人、家族が村八分にならないように、情報公開は必要だが、SNSなどで誹謗中傷にならないように対策してほしい、コロナが出た施設等も同様である。</p> <p>また、子供達が感染した場合も同様にいじめにならないように、素早いレスポンスと対応策を構築してほしい。</p>
小規模多機能型 居宅介護	3-変わらないが自主的に通所休んだ方いらした。
特定施設入居者 生活介護	<p>コロナに感染した人、家族が村八分にならないように、情報公開は必要だが、SNSなどで誹謗中傷にならないように対策してほしい、コロナが出た施設等も同様である。</p> <p>また、子供達が感染した場合も同様にいじめにならないように、素早いレスポンスと対応策を構築してほしい。</p>
放課後等デイ サービス	このような取り組みに感謝申し上げます